京城日報

九月十四日夕刊　(朝夕併せて八頁)

◇極東三勢力
此の三勢力に依りて秩序を維持せん

ブラゴエチエンスクの陷落愈々近く又チ軍はイルクツクに集中し更に歐露の新戰線に赴かんとしつゝあり尚極東西伯利方面の秩序維持に就ては聯合各國齊しく注目せる所なるが右に就てはホルワット將軍の政府並に浦鹽政府等あれど混亂紛擾の際とて矢張り武力に俟たざるべからず即ち其の見地より今後東部西伯利治安保持の中心者たるものはチタを根據として後貝加爾州一帶に勢力を張りつゝあるセミヨノフ將軍、ベラゴエチエンスクを中心とし黑龍州一帶に蟠居せるガモフ軍及びハバロフスク方面に於てはカルムイコフならざるべからず此の三勢力に依り極東の秩序を維持し得べしと觀測せられ居れり(東京特電)

烏蘇里方面戰報

△運送船沿岸通過
八日黑龍江沿岸ラバパスよりの電報に依れば、同日迄に同地通過の汽船十一隻にて各船共多數の兵器彈藥を滿載し兵士五百を搭載し居れりと(十三日午後九時浦鹽發本社從軍記者特電)

△我軍黑河に向ふ
我軍の一部は十日齊々哈爾を發し黑河に向ひ前進を開始せり(十三日午後九時浦鹽發本社從軍記者特電)

◇黑龍鐵道ジ驛列車運轉
黑龍江鐵道はジロテ驛(過般チ軍の占領せしスレーチンスク驛の中第三驛目)迄列車を運轉す可し(十三日午後九時浦鹽發本社從軍記者特電)

◇廣東借欵成立
廣東三水鐵道管理局は廣東軍政府の經費に當つる爲め臺灣銀行廣東支店と二千萬元の借欵を締結し、又紙幣兌換の爲め軍政府と百萬元の借欵を締結せる爲め紙幣價格は八割六分騰貴せりと(香港電報)

◇所管事務伏奏
後藤外相、上原參謀總長、島村軍令部長は何れも十三日午前參内、天皇陛下に拜謁仰付けられ各所管事務に就き伏奏せり(東京特電)

◎浦鹽形勢眞相
夏秋龜一氏談(三)

斯く迄社會黨所謂西伯利政府及びゼームツホに從ふ事を欲せず却つて反對の主旨を執るといふ原因は如何なる處にあるか、それは今日に至る迄の

△露國の歷史を 見なければならぬ、今日の露西亞即ち大擾亂の、西伯の今日を現出せしめたりは誰の罪であるか如何なる者の業であるか過激派でもなければ誰れでもない社會黨(革命黨)者のである露西亞に革命が勃發して以來一切の印刷物といふものは嚴禁された革命勃發以來四五日目に如氏心を驚かした印刷物は一般に配布せられた、それは何か即ち革命黨より出された命令第一號である夫れは『露國軍隊は假令一兵卒に至る迄決して將校の命に從ふ必要なし全く同等の權利を有するものなり自己の

△自由に依つて 行動すべし』といふ意味の命令である、今迄はカフエー等の出入を嚴禁され往來に於て喫煙をさへも許されなかつた程の兵卒は恐るたる獅子の縛めを解かれて野外に放たされた樣に或は富豪を襲ひて金財を強ひ或は料亭に押し上がりて好き勝手な眞似をし放火、強盜、惡事の有りたけをつくした、されば如何で將校などの命を重んずべき士卒は顚倒の狀態であつて將校等は兵卒の無禮に恐縮の體で號令もなく軍律もなく紊亂に紊亂を重ねた結果は遂に軍隊に於て小隊毎、中隊毎などの會が組織さるゝに至つた然して此の會合の決議に依つて

△軍事上の進退 を決するといふことになつたのである爲合の會衆何事をか議せん、如何なる名將戰略家といへ共其計を用ふるに由もなく遂には左の如くして押寄せ來つた獨逸軍の爲めに一擧十數萬の捕虜を出すの慘事を見るに至つたのである、命令の第一號は斯迄露西亞國内を悲境に陷らしめたのである、此命令の主は誰であるか、即ち智識階級及び有産階級の人々が國賊として寸閑も忘るゝ事の出來ない社會黨の一人なるソコロフ其人である、智識階級及び有産階級の人々に依つて組織されたトロストーフ軍隊が如何で其最も憎しとする

▲社會黨に與す る事を欲しやう茲に至つて聯合與國殊に我日本として露西亞に對する政策上一言を呈して參考ともならば幸甚の至りである、昨年予は哈爾賓に遊んだが其當時哈爾賓人士は悉親米熱に醉つて何も彼も米國でなければ夜も日も明けぬ程であつた米國は當時三十億の大金を投じてカムチヤツカ買收に着手してゐた現下三十億の大金は我が西亞經濟界衛活の基である米國は實に露西亞の爲めには救護の神なりと絕叫してゐたのである其旺盛な熱は今年の六月に至つて一時に醒め果て人心一轉して排米敵日の熱となつた、然も各國に檄文を配付した有力者會合の決議に於て敵日反對者は百人の内に

△僅か十人を越 さなかつたのである其檄文たるや如何なるものかといふに露國現下の狀態は遂に聯合各國の援助を仰がざるべからず就中極東に於ける日本の地位上其他に於て最も日本の援助を俟つもの多大なりといふのである。(東京支局)

○位階陞叙
十日附を以て森賢太郎國枝博朝鮮貴族嗣子金範珪に各從五位上田幾一郎に正五位等十九名敍位の御沙汰あり

○稅關鑑定官會議
稅關鑑定官會議は來る十六日より鈴木專賣支部長官總裁の下に關係課長參列左の日程に依り總督府第二會議室に於て開會すべし

十六日指示及打合▲十七日打合▲十八日同上▲十九日同上▲二十日同上

○水產市場成績
大正六年中朝鮮各地水產市場に於て取扱はれたる水揚高は市場數三十二數量六百十八萬六百零二貫價格二百九十七萬六千九百三十四圓にて內十萬圓以上の水揚高を聞くに釜山九十萬六千圓淸津十六萬五千圓統營十一萬二千圓京城二十三萬五千圓龍山十一萬九千圓京城日の丸十四萬九千圓舊馬山二十萬三千圓仁川十五萬一千圓中增十一萬三千圓等にして今各年の比較を揭ぐれば左の如し

年次	市場數	數量	價格
大正元年	二六	三、五三三、〇三〇	二、一五〇、六六六
同二年	二四	三、八九四、二〇〇	二、〇七六、一八七
同三年	三一	四、〇八五、九七〇	二、〇〇九、九七四
同四年	二六	四、三〇七、五三三	二、〇三四、三〇二
同五年	三四	五、八三八、八八九	二、三三八、五四三
同六年	三二	六、一八〇、六〇二	二、九七六、九三四

◎鮮銀浦鹽爲替開始
來る二十日より

朝鮮銀行にて準備を急ぎつゝある浦鹽と內地朝鮮滿洲間の爲替は諸手續きを終了し以て同地松田銀行と鮮銀各店並に主要地他店との間に二十日より開始する事に決定せしが建ては全部圓金による事となれりと

○粗布狂騰事情
未曾有の高値=輸送の杜絕と在荷薄=目下の相場は大井

頃日來京城粗布の標準品たる三エースは狂騰に亞ぐに狂騰を以てし居るが十二日京城の唱へ値は一俵四百三十圓乃至四百四十圓にして實に未曾有の高値たり昨夏

△粗布の暴騰 して物議を釀せし際さへ三百六十七十圓唱へにて昨今の相場より尙ほ七八十圓の下値たり更に本月一二日の相場は三百七十圓乃至七十五圓なりしに付僅々十日間に六七十圓の暴騰を見居れる譯となり之れを大阪相場に比すると目下五十圓の上鞘を示し居れるが右事情に付某有力商の談を聞くに粗布狂騰の原因は種々あるも(一)特別騰貴のため上旬以來大阪積出し鐵道による入荷殆んど杜絕し居り今後仁川廻しにて若干の荷著はある見込みなれど兎に角在品薄は相場を昂めたり(二)七八月來粗布の値頃

▲餘りに強調 なるため京城釜山等の主要棉布商はその仕入れを手控へ居りし嫌きあり殊に九月中に取引すべき明近物に於て然りし觀なきに非ず然るに一方米高その他による地方資金の豐富は粗布の需要を大に喚起し殊に昨今需要期に入りたるより各地の註文騰を喚びたり(三)在荷薄並に入荷の遲延を見てころや多量の註文を引受け居る共益社その他の大店筋は各方面に手を廻し在庫品の買漁へ買競ひをなせし模樣あり之等の關係は粗布の

▲大昂騰を促し たるものなるが前述の如く鐵道輸送力の缺乏は汽船積荷物の多數を招來せる如く從つて京仁間漢江水運等の力による京城入荷も遠からざるべしと思はるゝと地方の需要も一巡行き渡れる模樣あり更に餘りの高値は買方も自然手控への止むなき事情もあり旁々目先多少の上値ありとも先づ昨今の相場は天井と見るべく若し船積粗布の

▲入荷續到 するに至らば或は意外の大惡落を來すやも圖られず暴騰の急なりしだけ夫丈け低落も迅速ならんやとて警戒せる向もあり

○鮮銀新株公募
十六日より廿日迄

朝鮮銀行新株三萬株の公募は大阪信託關東京現物關東京株式現物關に於て引受け來る十六日より二十日までに申込みを受くる事となりしが條件は左の如し

募集株數三萬株　申込單位十株　申込百三十三圓以上(五十錢刻)　申込證據金一株に付五圓　申込證據金の端數を附せざる事　募入決定方法

最高額より順次募入し同價格のもの募集株數に超過したる場合は總額にて適宜定む　確定證據金一株に付十五圓　確定證據金を以て拂込金額二十五圓並に割增金　第一回拂込期日十月五日　第一回拂込期日 十月二十三日より二十八日まで

尙ほ申込取扱ひ店は鮮銀行本支店出張所第一銀行內地主要支店東京大阪京都現物團等なり

▼プレミヤム何程
鮮銀新株の賣出條件は前項の如く決定せしがそのプレミヤムが何程位にて募入さるべきかは興味ある問題なり昨春鮮銀新株の募入は平均二十九圓餘にてプレミヤム平均は三十一圓見當なりしが目下の鮮銀の業績は昨春に比し面目を革め居り銀行券發行保證準備の限度を見るも三千萬圓擴張されて預金貸出の數字その收益等の進步增大到底同日に談ずべからず配當も一分を增し居り更に今後西伯利支那方面の活動を待せられつゝあるを以て又現在の如く收益增加ありてはその配當の前途は半々たるものあり少くも臺灣銀行の配當たる一割當增加も恐らく近き將來に來るべしと云ふを當れりとせんも配當增は何頃起るべきかは先づ當分見込み少し唯今後鮮銀增資の必要がいつこ率に進む事は蓋し遠からざるべく旁々今回の鮮銀に附隨する株價の値上りは當然期待して可なるべし株はプレミヤム十圓以上ならでは募入困難ならんとの觀測有力なる如し

◎朝鮮產金業者の窮境救濟策
產金材料の格安と供給=補助金下附の要望=現狀にて推移せば前途益々減ぜん

朝鮮の產金は鐵器ダイナマイト水銀勞銀の暴騰のため屢報の如く本年に入りて非常の不況である、更に日に月に不況に陷つてゐる、若し雲山稷山遂安三外人金鑛經營の採金高を本年朝鮮の

▲產金量 から除いたら內地人並に朝鮮人經營金山の採掘は殆んど問題にならぬ程減少してゐる事を發見するであらう、更に現に經營を續けてゐる人も到底コレではやつて行けぬから止めやうと云ふ人が多い、止めつゝある者は更に多い、此の狀勢が此儘放置して置いたらどうなるか、朝鮮鑛業界の大宗たる金鑛業の前途は時局が平和とならぬ限り否平和となつても採金材料が下らぬ限り殆んど休止の狀態になりはせぬかと云ふが金鑛經營者の聲である、國家がどうにかして貰はねばならぬと云ふのが金山をやつてゐる人の聲である又その

▲理由も相當 にあるやうだ十三日鑛業會に於ける鑛業家の會合に於て一內地人鑛業者は云つた『同じ一金山の收支を見るに大正三年頃は經費が三分の一ですんだ、その後材料は非常に上つたが尙ほ昨年では經費三分の二で終つた、然るに本年になつて經費は四分の三コンマの五に上り殆んど利益は失くなつてゐる、然も水銀もダイナマイトものみもズン〳〵上りつゝある然るに金の値は支那などでは品不足のため匁六圓にも賣れるのに金銀輸出制限令は金の輸出を禁じてゐるのである乃ち國家は金鑛業者が採金費の暴騰を幾干か補ひ得べき金の

▲高價輸出 をやらさぬのである、コレは國家の正貨維持上必要であるとすればそこに何等文句を述べる餘地はないが、然らば材料高のため經營に困難の金鑛業者に相當の補給を講ぜらるゝやう陳情要求するのは當然でないか、產稅鑛區稅の減免の如きでは到底吾々の窮狀は救はれぬ、コレはどうしてもダイナマイト鐵器水銀等を政府で大口に買ひ格安に當業者に供給する事並に英國などで實行せんとしつゝある金鑛業者へ補助金下附コレは產金額や經營狀態を參酌してから

▲相當の方法 を講じて貰ふ外はないのである、然らざれば朝鮮の產金は益々減る、年末の鑛區稅の納期になつたらそれを滯納して鑛業權を沒收せらるゝものは極めて多いであらう、前途寒心に堪へぬのである、黑鉛タングステン水鉛その他の鑛物も鐵を除けば槪ね惡い、然し生產過高に伴なひ幾らか値が上がつてゐる、然も金は匁五圓と少しも動かぬのである

○雲龍鐵山買收
鑛量一千萬噸

京城麻生音波氏は前平安農銀技師たり一平壤野口的三氏の採掘權を獲得せる平安南道江東郡國知面雲龍里所在の鐵山を最近八萬圓にて買收採掘する事となりしが同鐵山は磁鐵含有四十パーセントにして鐵鑛石は四十五パーセント乃至にして普通品なるも鑛量推定約一千萬噸の巨量に上り年々五十萬噸を採鑛するもよく二十年の生命あるべく氏は內地某製鐵所に供給する方針の由

○正米市場開市
役員選擧

既報の如く正米取引市場は愈々其の成立を見十四日午前十時より各役員の選擧を行ひ三井物產の高野氏を組合長に執行猪太郎、金東晳兩氏を副組長に推したるが之れと同時に從來の穀物組合は解散する事となりたるが這は何等米穀取引方法等の事を取扱ふ事なかりしを以て正米の取引を爲すべき場所なく從つて公定相場等立ち居らず現に正米標準なるものは米商間に一定し居らず這間の關係より地方奧地よりの籾若米の如きも先取引を爲し相場の公定され居る仁川群山釜山等の市場にのみ吸收さるゝ傾向を生じ相場の變動も比較的甚だしきを免れざりしなり

かくて今正米市場の成立を見たる曉は京城にも米穀の受渡市場を有すること、なり從來の如く穀物商相互間に之れを行うて諸種の不利を感ずる等のこともなく商取引は極めて圓滑且つ敏速に行はるゝに至らん要するに正米市場の開設に依り京城に於ける正米公定相場の確立を見市內區々の相場を統一し從來の如き米價の激變を防遏する事を得べく取引上より起る諸種の紛擾圓舌は大に減少さるゝを得べし且つ目下京城に集まり來る米穀は殆んど消費米に限られ居りしが正米市場の開設により取引の確實と迅速を期し得べき等の關係より京城米穀檢查規則等と相俟つて多少とも移出米の顯著をも見るに至らば寧ろ欣ぶべきことなり

○浦鹽電線復舊
浦鹽東京間電信線は十三日一時故障を來し通信不能となり居りしも同夜八時全通せりと

○醫學會講演
朝鮮醫學會京城支會にては既報の如く十四日午後二時より醫學專門學校講堂に於いて例會を開催せるが出席會員百餘名に達し左記の如き講演あり盛況を呈したり

師二口演 試驗報告 瀾部博士 森安連吉 △デモンストラチオン 一、パセドー甲狀腺腫 一、肝包蟲腫 一、蟲樣突起發病後四十五時間 植村俊二 △メラノーム標本供覽 有馬英二 △若年環に就て 早野龍二 △八一的老人環の供覽 佐竹秀一 △藥博士 丹波敬三

○視學講習會終了
開會中の各道視學講習會は十四日も前日に引つゞき午前九時より高等女學校に於て開會午前中は小田編輯課長より普通學校敎科書、新國定敎科書及び修正國定敎科書の說明あり午後は各視學官より學校視察上に就き注意あり同日を以て終了散會せり

○北鮮日報組織變更
先に本宮次郎外二名より申請中の合名會社北鮮日報社新設の件は十三日總督の許可ありたり同社は從來個人の經營にて發行し來りたるが今回會社組織とし資本金一萬二千圓を以て經營すべしと

○鑛業登錄(自八月廿七日至九月七日)
▲鑛業權設定
銅、鐵 京畿道開城郡中西面 百萬坪 高畑與吉
金、銀 平安南道成川郡ヶ龍山面四佳面成川面 九十七萬六千三百六十一坪 金斗鉉
黑鉛 咸鏡北道吉州郡長白面 三十三萬八千五百三十二坪 村岡小一
金、銀 平安南道大同郡龍岳面 二十三萬千四百十三坪 金泳煥
同 忠淸南道公州郡灘川面 八十七萬三千三百九十六坪 朴晉泰
黑鉛 平安南道价川郡雲谷面 十五萬千四十坪 武石庄兵衛、岡島謙三
砂金 京畿道抱川郡蘇屹面 十八丁四十四間 池南環、金正洪、李淳玉

▲鑛業權移轉
平安南道江東郡區池面 陳王晉波

▲鑛業權消滅
江原道淮陽郡下北面 古森謙樹、白性敬
平安北道義州郡水鎭面 古河鑛業株式會社
京畿道開城郡光德面甲郊面 取消
咸鏡北道穩城郡淸安面 同
全羅北道茂朱郡茂朱面 同
忠淸南道靑陽郡飛鳳面洪城郡長谷面 廢業

▲共同權者脫退
平安北道宣川郡東面 同
平安南道成川郡九龍面 吳伊道任意脫退
平安北道江界郡龍林面 張鳳鶴任意脫退
平安北道昌城郡新北面 張景濬任意脫退
忠淸北道永同郡上村面 田村權藏任意脫退

○兩博士入京
去る二日釜山上陸以來加藤總督府囑託の案內にて平安慶州扶餘地方に於ける新羅百濟任那の古蹟調査並に日本歷史との比較研究其他調査の爲め同地方旅行中なりし文學博士荻野由之三國田中義成の兩氏は十四日朝入京巴城館に投宿したるが同十時過ぎ總督府に谷川總督を訪問し入京の挨拶を爲したり尚兩博士は一週間滯在市內觀察を爲し滿洲に赴くべしと

○井戶川少將出張
入京中なりし第十九旅團長井戶川少將は十四日朝水原地方に出張せり

○山室大佐訪府
入京中の救世軍大佐山室軍平氏は十四日朝總督府を訪問せり

○嘉納副總裁歸期
東上中の鮮銀副總裁嘉納德三郎氏は二十三日東京發歸鮮の豫定なる旨通知ありしと

人事消息
▲丹波藥學博士 十四日朝入京巴城館へ
▲八島明氏(土木局京城出張所技師) 八日間の豫定を以て瑞山、瑞、保寧、舒川へ出張を命ぜらる
▲伊藤賢三氏(專賣局京城出張所技師) 四日間の豫定を以て瑞興地方へ出張を命ぜらる
▲深崎修氏(總督府事務官) 釜山出張を命ぜらる
▲不破家全氏(朝鮮商業學校長) 十三日夜東上
▲讓ヶ源輔氏(大連鮮銀支店助役) 月末赴任の豫定
▲林銀助氏(群山不二西鮮農場取締役) 十一日朝入京浦へ
▲高坂殘三郎氏(水原園藝場技師) 同上
▲島岡亮太郎氏(大倉組重役) 十四日朝過京

茶前酒後
◇吾人は前日、新舞臺に活躍すべき、快漢ガモフを紹介せり、更に今日亦一新人を紹介せんとす。一新人とは誰ぞや。即ち本月一日、中部西伯利チエック軍を率ゐて、オロウアンナヤに、セミヨノフ軍と連絡せる、ガイダ其人也。

◇ガイダは、チ軍第二師團第六聯隊長としての、一大佐なりしも、過般少將に昇進し、マサリック博士は、彼を西部チエック軍指揮官に任命し。ヂトリツクス少將を、極東チエック軍指揮官に任命せり

◇闘將としての彼は、手腕の見るべきもの多く、作戰小巧妙にして、曾て部下約七千五百餘を率ゐて、敵とイルクツク、チタ、カルイムスカヤ等に戰ひ、屢々之を破れり。軍人としての彼は、戰爭能力に於て、決して他に劣らざるの武人也。

◇然れども彼や、暴慢にして、其の態度が甚だしく、非難の標的となり居れるは、彼の爲に遺憾也。曾てホルワットが、一度後貝加爾に於いて、彼と會見するや、口を極めて、彼は低級人物也と評し、僅に一見後に於いて、殆ど愛想をつかし居れり。彼は現在、ヂトリツクス少將部下なるに不拘、彼の眼中にはヂトリツクス無く、彼と會見せるヂトリツクスは、內心大に憤慨する處あり、遂に表面上軍の統一と稱し、其職を辭せしに見るも、彼が片鱗は窺ふに足る。

◇彼が此の暴慢も、畢竟するに、孤軍奮鬪屢々殊功を樹て、露國人にも歡迎せられ、已に非ずんばの慢心の結果にして、極東の事情、能く彼が腦底に徹せば、元來鈍ならざるの彼、其態度にも一變化を來すべし。現に我武官と彼との會見の際の如き、彼は從來の態度を一變し、我北滿軍の進出を謝し、特に君が代の奏樂を以て、款待大に努めたるに見るも、衷心より彼が、暴慢ならざるを推するに足る。

◇而して玆に注意すべきは、彼が有力なる後援を有する事也。之亦彼をして暴慢ならしむるの、一原因たらずとせざる也。彼の行く處影の形に添ふが如く、必ず跟從するは、米國鐵道隊のエマーソン大佐也。極東の政界、新にガイダを加へて、更に複雜ならんとするは厄介の上にも、厄介を重ね、難題の上にも、難題を加ふる譯也。

アスファルトフェルト 各種
一便利瓦(相製マルソイド ラバロイド) 各種
京城永樂町二丁目六〇
德田商店 電話二三二五

金丸の鐵砲でこの通り!!!
新荷着
横濱市本町 合資會社 金丸銃砲店
獵銃、獵具、火藥 散彈 其他全備
(獵銃定價表郵呈)
電話二五五番及六五三 振替口座東京四七一〇

成金たらんか 敗者たらんか
其の分岐點は 株式賣買の巧拙にあり
弊店調査部は最も有利にして確實なる株式を選擇にて御通報可致候
東京市日本橋區坂本町十八番地
公債株式現物問屋 合資會社 春中株式店
電話浪花四九三九番 電信略號(タ)

新荷著
京城本町二丁目二十九番地
山葉樂器朝鮮代理店
販賣元 釘本樂器部 電話二二八三番

新著品案內
アメリカ ハブコック ウヰルコック
水管式ボイラー 壹基(新品)
實馬力 百貳拾五馬力
傳熱面積 千貳百四拾五平方呎
使用壓力 百六拾五封度
一公稱參拾五馬力 貳聯成船用汽機 貳基(新品)
一ウヰンチ 7"×10" 七臺(新品)
大阪市北區堂島町拾番地ノ五
達摩商會
電話長西 六九五、一〇一貳 七九五、三八七八 九四四
振替大阪三八六二六 電略 タツ

治淋 國產 新藥
GONOSALVIN
ゴノサルビン
白檀油代用藥
優秀卓絶 廉低價格
效果的確にして消化器障碍なく純內國產なれば價格從て低廉
發賣元 大阪市外中津町 三友製藥合名會社
特約店 大阪道修町 武田長兵衛 東京本町 小西新兵衛
文獻見本御家に限り本社より進呈

洗濯石鹸角形專門
角形石鹸 元祖 浦本石鹸工場
京城南米倉町二八四番地
電話二一九四 振替京城三一三九番

時間表
▲同上南行(定時列車)
▲京元線
▲平南線
▲馬山線

西伯利從軍記

▽意味深長なる銅像と日章旗

占領したハバロフスク市

商業上には餘り重視すべき土地ではないが革命前迄は政治上の中心地だつた

從軍記者　金谷眞

クラエフスキーの敗戰以來敵が擁持の一[illegible]を試みんとせしハバロフスク市は陥落した、九月五日の晴、わが大井師團の精銳は一氣呵成にハバロフスクを奪つた、八市は廣い黑龍江の流れと烏蘇里河の激流が相合する處にある、恰度その兩河の合して岸を洗ふ所に公園となつて居て此處には一の銅像が建てられてある、銅像の主はムラビヨーフ、アムールスキー露國の東方經營に忘るべからざる此の偉人は遂に

南の方を瞰睨

しつゝ起つてゐる、同八市に樹てられた日本旗と此の銅像、實に意味深長なる對照ではないか、ハバロフスク市は哈爾賓、浦鹽の何處にも勝つて風光の美しい處である、今度我軍は日本軍の手に歸した黑龍江の大鐵橋は長さ約二千米突、橋上の往復には一時間もかゝる、八市來電によれば敵は此の大鐵橋を破壞せずブラゴエ方面に逃走したといふのは何よりの幸せであつた、また我軍が火砲五十門を押收した兵器製造所もあれば河用砲艦を浮べた

海軍の根據地

もある、それに遐回押收された十七隻の汽艇といふのは此處から上流のブラゴエ方面や下流のニコラエフスク方面に通ふ双外輪の船である、江上を上つても下つても三四日の日程、その間兩岸の風光は又格別の眺めである、元來ハバロフスクの街は物産もなく工業もなく只役所と官吏と兵隊の町であつた、夫にも一寸は黑龍江を通ふ人達が是非一度此處に上陸するので繁昌してゐたが商業上には餘り重視すべき土地ではない、軍營は約

一個師團の兵

を容るべき建物があつて以前は極東の軍司令官が此の地に居た、ハバロフスクといふ名稱はハバロフ將軍（以前の總督）の名によつてなづけられたもので開けたのは今からおよそ五十年前である、八市は實に極東の政治上の中心地でもあるべく革命前は有名なゴンダッチ總督が居つて沿海州、黑龍州、臨[illegible]、勘察加州を統治してゐた、革命となつてからも極東の代理官としてルサノフが居り次に今度の革命からで兵站のクラスノシチヨーコフが政權を握つた

邦人は約四百

たが八月上旬初めてわが西伯利亞の出兵を聞き一部引揚の準備にとりかゝつた、その中の一部九十名は此の一兩ヶ月中にニコラエフスクから來て浦鹽に上陸する筈である、氣候は北緯四十八度で樺太の中央部國境附近に等しくそれに丈さ大陸的氣候の影響をうけて却つて寒い、冬は零下の四十度に下ることもある

○富源の開發に

各國活動の舞臺となる廣潤な西伯利の大地

年中雪に埋もれてゐる曠野のやうに思はれた西伯利亞の地に經濟上世界的富源を藏してゐる事實が判られたのは日露戰役の後の頃で

▲北當時　から列國は何れも之に著目して極めて秘密の裡に夫々専門家を同地に派遣して諸般の調査を進めてゐたものである、而るに偶々歐洲戰爭が始まり殊に露國の革命は帝政を壞して爰に國内は亂麻の如く殆んど收拾の道もないやうに見られて來た此に早く眼をつけたのは英米兩國で就中米國の如きは先づ

▲北天與　の土地を開拓すべく各専門家を選んで約三百名の鐵道隊を組織し之を數回に西伯利の奥深く派遣し英國も何時の間にか露方面に八千七百餘萬圓の投資を行つてゐる、そして更に今回の出兵を機として兩國は武器……たる中外兩國及び米國は基礎を固めるべく要上知名の實業家を多數派遣して調査する事に決定してゐると云ふ

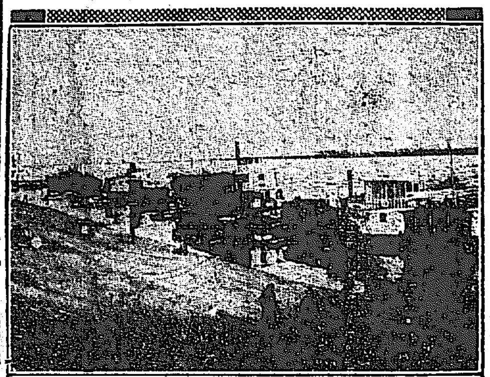
▲翻つて　我國の狀態は如何と見るに此地に於ける事業家としては三井、久原、古河の三社外二三商社から名の知れた人を派して比較的活動してゐる外、探險家が一二組砂金、麥を見ながら三四十名野の奥に入込んでゐる位のもので當局に經濟援助委員會が出來て先づ組織的の調査が行はれる筈にはなつたが重大な資源を有する林業、水産方面の

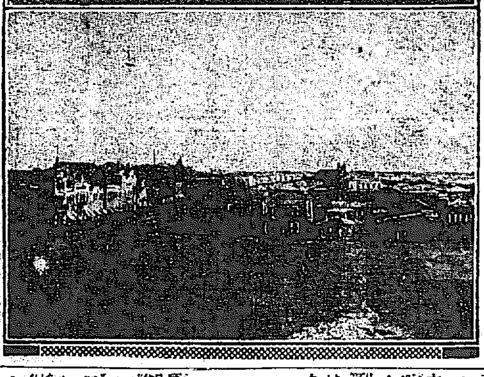
▲調査は　未だ一指も染められてゐない、然し今西伯利亞の富源は調査される時になれば北滿の價値が日支兩國の事業として競はれる如く筆の夫以上有

▽賃に痛快　に堪へぬ少壯將校は云つても此處には露國の兵器廠に就て其の意見は語る『戰に勝つた者の云ふ事は此處には……あるハバロフスク占領、北滿軍の行動の結果は有らう、我が……の後の策が少なからず何か……此の成果に……

▽根據地と　稱すべき所であるから一層歡喜の念に堪へない報にもあつた同地官民の我軍歡迎の情も思ひ遣られる

★日章旗が飜つたブラゴエチエンスク（上）[illegible]（下）[illegible]





○關東以西は大荒れか

—颱風動く—

本月六日沖繩附近の海方に顯はれた颱風は再來殆ど同所に滯留しつゝありしが十二日來少しく北北の模樣を見せ十三日更に北北に進行して大分附近に至り中心は約七三〇粍を示し猛烈な勢ひなるもの、如し一方高氣壓は朝鮮北部にあり風は北東を妨げられて南偏すべくて漸次移りつゝあるを以て該颱風は恐らく九州南方より本州太平洋岸方面へ進走するに至るべく從つて十四日頃より九州を始め關ヶ關東方面に漸次暴風雨を齎す可し而して朝鮮は前記の狀況なるを以て南岸地方に多少の影響あるも他は甚しき突變なかるべし（十四日午後測候所發表）

○新巨砲

の實彈射擊

我海軍の主力悉く集る

帝國艦隊は慣例により八月中旬より九月に亙り〇〇〇〇方面に

★主力を集　中して甲艦の上官たの高官にて鋼鐵も燒けん許りの酷暑を冒し艦長以下の砲術将兵は戰に參加する以上の苦心を以て〇〇を期して炎熱中に砲火を切、米突の遠距離に移動標的に向つて艦砲の

利な條約が共處に提議さるべきはない哩であるから餘り悲觀する必要はない只此事件から出拔かれぬやうに注意して此の世界的豐庫を開拓しなければならぬ（某氏談）

★實彈射擊　演習を執行しつゝあり殊に本年の演習は歐洲戰爭の教訓により艦砲の射方法に多大の改革あり且つ超弩級艦四隻も参加するので砲術の研究上に一新紀元を劃するとして戰隊當局に於ても多大の注目を惹いて居る

★侍從武官　を御差遣あり長一遊にては特に〇〇方面に向ひ鎮守府は〇〇長官を始め參謀官兼同所の爲め來觀せらるゝ筈で演習は十一日を以て全部終了するが射撃の結果如何は今後の實戰にも多大の關係あることゝて

★優勝艦に　は恩賜の銀盃が下賜せらるゝ由なるが殊に艦が此の月桂冠を得べきかは海軍部内に於いては非常な興味を以て其の結果を待つゝあり

○米鮮せる救世軍山室大佐

○ハバロフスク最後の避難邦人

百七十名浦鹽に到着

過激派首領の夫人と語る

ハバロフスクの避難邦人百七十名は十三日午後ゴッドラード號にて浦鹽に入港せり昨年京城西本願寺にありし日佐堅正師一行を引率し來れり一行は八月六日我出兵を聞き逐次ニコラエフスク及びブラゴエに避難せり今回は最後の避難にして船中は非常なる困苦を嘗めたりと西伯（太田金谷從軍記者）は同船にて來れる過激派の首領極東勞農會長クラスノシチコフ夫人に面唔せしに夫人は多くを語らず之れより敦賀を經て横濱に向ふ可しと語れり夫人は亞米利加人にて子供二人を伴なひ居れるが年猶若く二十七八の美人なりチエツク兵は埠頭を警戒したり、予は十四日ハバロフスクに向ふ可し（十三日午後九時浦鹽發本社從軍記者特電）

○恨みは深し

邦人虐殺のあと

ブラゴエは敵が最後の根據地

砂金、麥の産地として名高い

十四日附利所報の如く敵の軍司令部がブラゴエチエンスクに移つた報は我軍のブラゴエチエンスク進軍の一般を公表してゐる從來一般ハバロフスクを占領したと思ふと最うブラゴエにてゐるハバロフスクと云ひ全くのブ市と云ひ疾風迅雷の如き我軍の行動は

六十四哩の地點にあり、アムール河によつて千八百五十六年に建設されたもので附近に附屬して砂金其の他鑛物兼類の産出に名高く歐羅巴の事情にのみ則ても歴史上より見ても經濟上より見ても必要な都市である

ブラゴエは去る三月十二日入虐の報に只ドの日本人が多数の爲めに全滅したのは三月末日であるもの三百餘名、哈爾賓を距るもの人口は約六萬、在留

○新銅貨

百萬圓急造

戰時中の影響を被つて補助貨の缺乏を告げ、補助貨は一時中止の状態で一般に對しては非常な變動を來たした、商賈の如きは全く商賣上にも支障を來しつゝある樣なので大藏省にては紙幣を發行して緩和したが其の效果は餘り……之が急に應ずる爲め今年度内に一錢、五厘銅貨を鑄造する事に決した千萬枚（百萬圓）を鑄造する事に決したが爲現在鑄造中の新銅貨（內約六七百萬圓は既に鑄造濟）の鑄造作業は一時中止し小額紙幣を以てこれに充て全能力を銅貨に振向くる筈であると因に本年度の鑄造高は右にて百二十萬圓となる都合なり（東京）

○高麗丸引返す

暴風の爲め

十三日夜定期出帆せる釜浦航路の高麗丸は途中暴風に遭遇し航海危險の爲め午前一時無線電信にて釜山港に引返す旨報じ來り十四日午前四時釜山港に歸着せり暴風の爲め前橋に損害ある無線電信器を損じ直ちに修理し後海上安全となるを待つて出帆すべし（釜山電）

○國史の對外的研究

古い建物を保存し度い

帝大教授文學博士　田中義成氏談

京都大學教授荻野由之、同田中義成兩博士は十四日午前五十分南大門著、城所に投宿した、田中博士を訪へば『内地に於ては國史研究上の資料は大に攫されて居るが、從來日本文明の淵源たる

◇支那文明　及びこれを取次した朝鮮の文物の上から研究された事はないので、今度は旁々支那各地を視察すべく出て來たのである、併し始めての事故これを研究する事は可能ないから今回は大體に視察して將來の方針を立てる考へである、行く〳〵は印度及び南洋諸島にも遣はしたいと思つてゐるが、斯て調査の後は、内からも外からの研究相俟つて茲に始めて

◇完全に近　い國史が出來上り、從つて日本の異面目、東洋に於ける日本の位置が明かになるのである、朝鮮では釜山、東萊、慶州扶餘、全州、公州等を視察したが、山川風物悉く日鮮兩地の歴史的關係を物語つて居るので頗る興味があつた、古器物其他美術品より、門家がある（ので）我々は

◇王朝時代　に共通した、樣な建物を見ると當時をしのびつゝ調べたが、之など研究するのにだん〳〵調べたが、之など面白いものと思つた、兵營の墓宅の、機構、附屬、門類等の研究は日本古代の役所の建物を研究する上に大いに参考になるだらうと思ふ、只、憾なのは古い建物がどし〳〵破壞されて了ふ、門丈け殘つたり、廳舎丈けを他に移轉したりしたためには完全な物が尠い

◇景福宮杯　は或る一部分を昌德宮に移したさうだが惜しいものである、出來得べくんば朝鮮特有建築古樣式の建物など國有として保存されたい者である』因に兩博士の滯京は五六日間也と

○二回とも定期運轉

京釜・京義兩線

京釜線は十三日午後十時南大門驛午前九時三十分發釜山行、同午後一時三十一分發安東行急行及び同午後一時三十分の急行は不定期運轉中の處定期となりと

通俗講演

中央講演……の大家

　　京城に於て開催中なる全國神職講習會の機會に於て帝在中なる神社祭式の大家内務省神職講習所、國學院大學、皇典講究所の講師たる青戸波江氏を招聘して左記に依り通俗講演を開催致候に付愛讀者諸君は奮て御聽講せられん事を希望致候（聽講無料）

日時　十五日午後二時

場所　日出小學校講堂

演題　禮の大意

講師　國學院講師　青戸波江氏

主催　京城日報社

在京市民……の提案を容れて救濟資金中から五萬圓を割いて與れた事である、提案と云ふのは米の廉賣も必要であらうが救世軍に五萬圓與れたならば深川四ツ谷の貧民窟の附近に一萬圓を投じて土地を買ひ一萬圓を出て

○貧民に『心の糧』を

與へるのが刻下の急務……

米騷動の原因は生活難許ではない

◇……救世軍は斯うして貧民を救濟する

救世軍大佐　山室軍平氏談

入京中の救世軍大佐山室軍平氏を訪へば

私は朝鮮へはこれで三回目ですが今度は五年振りなので一週間を一巡して居る心算です、京城は十四日の夜出發（でには是から京釜）……米騷動が飛火しましたさうですが人間は頗る非道かつた、原因は生活の壓迫に依るのであらうが

その他の事情もしてゐる、富豪成金の……は嬌奢を極めて居り、人間は常に不平を懷いて居る、富豪民の政府と共に奢侈に流れて居る、從つて府民の心に一種の不平が潜んで居る、斯う云ふ所は……も自暴自棄に陥り易い、斯うして一旦火の手が擧がつたため、人は心を惡化させたのである、我々は米騷動に罪を全部の人達に新しい使命を感じて日本全國に熱誠を以て盛んに活動するものである茲に愉快に堪へないのは

又よりも上下を通じて……の救濟が重大な因だ

京城から來た……を我々の主義實行のために與れる事になつたらしい、私は非常に愉快で……

風呂場、理髮所、物品販賣所等を設けて遊ぶ倶樂部を設け其他の二萬圓を割いて罪人を植民して勞働させてもさうして貧民窟の中に堕世軍を植民して傳道に從事せしめる計畫であるが斯くして高尚の趣味を普及し、職士が共に手を取つて生活しならば彼等を救濟する事は容易である、東京市が果して私の提案を容れるかどうか心配して居たが京城にいてから報知を見ると愈々……

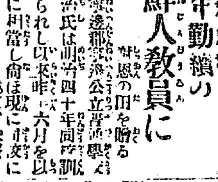
荒みに荒んだ貧民に慰樂を與へ精神上の糧を與へ

○十年勤續の鮮人教員に

恩賜の田を贈る

平安北道渭原郡公立普通學校訓導鄭聖治氏は明治四十年同校訓導に任ぜられし以來昨年六月を以て滿十年に相當し尚ほ現に其の職を執りつゝあり其間育英上の功績も少ならざるものあるを以て郡内有志者並に同校長の發起に依り記念品を贈呈すべき計畫を立て郡内各方面に亘り四百五十名の賛成者あり其の額百二十圓に達したるを以て此程訓導の郷里なる安北渭原郡内面盤山洞に若干の田を購入し謝恩の紀念田として贈呈し八月十四日同校に於て贈呈式を擧行したる由なるが洵に近來の美談にして範とするに足る

■始政八年を記念したる十月一日より京城郵便局で押捺するスタンプ



◇郵便物遲着

十三日朝入港すべき關釜連絡船缺航に付き十五日朝京城著の郵便物は遲着すべしと

○池田湖中に火山發見

田中阿歌麿氏が探險の結果

田中阿歌麿氏は鹿兒島縣揖宿郡池田湖及び鰻池の探險調査を了へ歸つて曰く『今回は主として水温及び深度を調査したが謎の如く測量した結果

◇池田湖中　に火山の孤立して存在して居るのを知つた即ち同湖南岸の突出點より約一……

○計頂上は

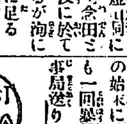
二十一緯の處から北は全く茶碗を伏せた如き形狀の大突起がある百二十粁位の所にある尖つた個所は岩石で成されて岩石は酒觴して形成し中央は窪みて中に泥土を澱して居る是等を綜合するに湖中に一休火山のあるのは確である

◇二十八度

下部十一度で面から十粁乃至十五粁の深所に熱源がある」

◎未練の暴

市内西大門町二の二十二牛肉店鮮人梁順吉（三七）は中林洞九十二賣酒業崔女阿只（二三）を戸外に引出し打つやら蹴るやら散々暴行を加へたる末一旦現場を引上げ更に義州通り飲食店林奥瑞方より牛切刀を持出し再び引返さんとする途上を巡査に取調べの結果今阿只は梁順吉の妻なりしも梁の素行修まらざるより數月前より實家に居たるを恨みて此の始末に及びたるものにて以前にも一同暴行したる事判明十三日檢事局送り



一日曜集會一

▲救世軍、永樂町二丁目十五日朝十時半『人の完成』石島少校同八時『第一の道』同氏

▲京城基督教會（南米倉町）午前十時禮拜・説教・先生涯の首途、吉木牧師同午後八時傳道説教演題

▲京城基督教會長谷川町午前八時半日曜學校開始同十時禮拜説教『一日の歎』秋月牧師同夜八時傳道説教

▲南山本願寺　午後八時『現代の打破』……

所になるからだと云ふ點にあるらしいと云ふ……ふ所は誠に簡單なもの……

○東清罷業漸く沈靜

ホルワット軍の武器返還式

群集花輪を投じて歡呼す

病傷鐵道同盟罷業は漸次鎭靜に歸せり十日午後ホルワット軍の武器返還式擧行されしが群集は花輪を投じて歡呼せり哈爾賓に留中のホルワット將軍は十三日再び浦鹽に姿を現はせり（十三日午後九時哈爾賓特電）

○弱味に隙込

（三）大田面不龍金永鶴の兩人から阿片の買入を賴まれ手附及び兼……更に改めて買入れんと賴し手續……より更に五百圓を受け取り……れば兩人は仕濟したりと手を叩い……て都合八百五十圓をマンマと騙……しこれ……

仁川正米市場

一圓九十錢……を取せるを手始めに……が是と同時に大中町通二の七……

十四日の十一月限

天氣　晴

寶の山　十五也物價……今日人生に……卸の商品を……

小資本で出來る有利な副業の吳服屋

こんな山間僻地でも織物の賣れる所はない……收入増加には一番の副業……

東京九段……久保濟織物チエンストアー地方卸部

金牌　登錄商標　太陽…　受領

男女頭髮用椿本ボマード　毛を黑く長くつやを出し　赤毛くせ毛ぬけ毛折毛等を防ぐ事妙　本舗　大阪西横堀　三宅堂

京城本町二丁目　川合時計店　電話一九一八番

片栗　朝鮮成興　宇佐美製粉所

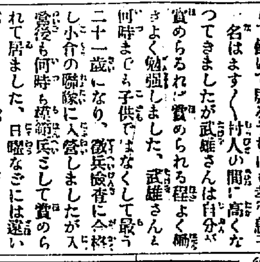
故トク子儀……九月十四日　男　辻川富重　男　辻川鐵之助　親戚一同　友人一同

この親この子（上）

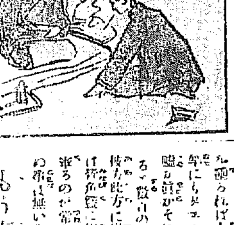
京日少年軍事お伽

龍山 涙光

日本は大方、何時の場合でも正義のために勇ましい戰ひをする、こんどの西伯利亜出兵だつて全く義戰ひである事を私達は世界に誇る譽しさを以て居ります、皆さんはこの前の『小さき愛國者』にあつた出兵兵士の物語りを知つてゐて下さるでせう、こんどはその物語の中にあつた、この親この子といふお話を書きませう、福岡縣の鞍手郡と云へば昔から高い所で、この郡に松ヶ江村と云ふのがあります、武雄さんはこの村で評判の息子で、松木武雄と云ふ姓を呼ぶ者は一人もなくて、みんな孝行息子と云つたら知らない者はない位でありました、學校は先生の仰せをよく聞いてよく勉強しますから一年から六年まで何時も級長をして居りました、いたづら凸坊や茶目が怒る時にはきつと武雄さんを手本に引出して居ります、學校で先生の敎へをよく守つてよく勉強をするそうな子はきつとお家ではお父さんやお母さんに孝行であります、武雄さんは日曜日やまた學校が退けて歸つて來ると他所の子供は遊戲ばかりして遊んで居るのに、自分は一人でせつせとお山に入つて薪を取つて來たり、お母さんのお使ひに走つたりして何かとお家の手助けをして居りました、餘り豊でないお家はこの小さい武雄さんの働きが大きに力となるのであります、斯うしてゐるうちに武雄さんは無事に[illegible]等も卒業して一生懸命でお家の事を勵むやうになりましたが、暇があつたら青年會の夜學などで勉強もおこたりませんでした、斯うして働いて居るうちにも孝行息子の名はますます村人の間に高くなつてきましたが武雄さんは自分がほめられればほめられる程よく働きよく勉強しました、何時までも子供ではなくして最早二十一歳になり、徴兵檢査に合格して小倉の聯隊に入營しましたが入營後も何時も模範兵として賞められて居りました、日曜などには遠い道をテクテク歩んでお父さんやお母さんのご機嫌を見に歸りましたが、その時はかならず、一日に錢二厘づつの中から貰ふ手當の中からその幾分かを貯へておいてお好きなものを買つて歸つてお父さんやお母さんにあげたりして居りました、その都度お父さんやお母さんは涙をこぼして『お前も不自由だらうからそんなにまでして呉れないでも……』他所さんでは毎月お小使を送つて上げなさる處もあるのに、私達は貧乏でそれも出來ない上に、お前の少いお給金まで頂いては』と言つて居りましたが、武雄さんは『何、僕なんか隊に居ればお小使なんか入らないのだから、そんな御心配はいりませんよ』と笑つて居りました、その間に兵役のつとめを無事に終つて晴れて歸休兵となりましたしかしその時分からお父さんは病氣にかかつて働く事も出來ませんでした、武雄さんは益々家業をはげんで病めるお父さんの看護をおこたりませんでした。歐洲の戰爭は青島の戰となり東洋の天地は急に色めき立て近い久留米の兵隊さんは出征しましたが直に日本は大勝利を得て青島は占領して兵を一時に揚げました、その後は西伯利の中が穩かでなくつて一旦揚げた兵を再び義のために西伯利に送つて出兵をせなければならない事になり、こんどは武雄さんの小倉の聯隊に動員が下りました、現役の務めをはたして歸休はして居るものゝ、身體は國にさゝげて居る武雄さんにも村役場から赤い紙片の召集令が配達せられてきました、その時、武雄さん一人働く細い田の此家まで米價暴騰は押し寄せて來て一寸働きを止めれば直に一家の生活にさしつかへるやうな苦しい場合であります、陛下にさゝげたこの身體をおめおめ村にとめておく事は尚さら出來ません、身體が一つで心は二つ、君國の爲に應召して行けば病みて自由のきかぬ父、老いた母はその日の生活に困る、父母のために止れば不忠不信の國賊と云はなければならないし、武雄さんの進退はいよいよここにきまつてしまひました、しかし武雄さんの決心は直にきまる事が出來ました、小さい時から忠は大きな善に依つてその罪をつぐなふ事が出來るのであると、父母の恩は山よりも高く海よりも深いには違ひないが、君の恩、國の恩はまだこれよりも大きなものでなくてはならぬ、斯う考へると武雄さんの勇氣は百倍して、



『お父さん、お母さん、お國のために陛下の御召です、不孝かは知らないけれ共、私は出征して國のために働かなくてはなりません』と云つたもの、哀れ明日の日からは食ふにも困る一家、兩親を思へば熱い涙が頰に流れて來ます、病床の父は我子の心の内を察して『何だ、馬鹿ッ、出征の門出に涙は不吉だ、この不忠者奴が……』と聲を慄はせて叱りました『子の心を親知らんでどうしよう』忠孝の涙、光つて居りました、お前の心を知らんで怒るのではないぞ、出義の道へ……まこたけれど、こそ……』



此親にして此子あり、武雄さんはこの老いの両眼の底に光る涙の尊さを見て取る事が出來ました（續く）

◎復舊後の東清線

例の一攫千金黨も猶も杓子も是れから北へ〳〵こ進む

鐵道會社各代表者は中東鐵道長官ホルワット將軍チノフ氏と會見し强硬なる交渉を重ねたる結果從來罷業に不賛同であつた從業員を以て一時運轉を開始しチェック及び

哈市停滯の運輸 を引受くる事となりたるは既報の如くなるが八日午前一時發北行の途に就いたと云ふ假令一部なりとも此運轉を開始し運轉の緒をみたと云ふ事は大いに喜ぶべき現象にして

愁眉を開く機會 を得た譯である哈爾賓長春、寛城子に山と堆積した貨物も漸次減少されて行く譯であらう又前日來長春の宿屋に籠居を餘儀なくされて居た彼の一攫千金黨も次第に北に吐出されて行く事であらう斯くて南滿に進出し相當の物資を蒐集した

陸續用達商中 も始めて活動の道を得て飛躍を試みる事が出來る樣になつたのであるが從來從業員の不足であつた同鐵道が其大部分を削減されたのであるから果して充分なる運轉を爲す事が出來ようか罷業の裏面は前號所報の如く

政治的意味が潜 んで居ると云へば同問題に對し同鐵道の運輸に對し或は陰に妨害を加へる事無しとも言ひ難いと憂ふるものもある[illegible]

問題で若當り開通した此機を利用し長春寛城子驛等に滯積した

全部を一掃する 事が必要である一時止つて居た運輸が開始されたのであるから奉天始め如き事務に忙殺されて居る近く北滿行き貨物の受附も開始される事であらう（奉天）

◎京鐵道と穀物

◇合地とも著しく增す◇

八月中に於ける京鐵管内各驛の取扱へる穀類の發送數量は米總數一萬九千五百六十八噸にして之を七月の發送數量と對比すれば四千噸を增加し移出米は三千九百七十八噸にして前月より約二千噸を增加し更に移出豆は三萬七千百九十五噸にして亦一萬五千噸の激增を來せり而して此れ各驛が所を通じて一般に增加せる數字なるが之を各驛取扱別及び穀類別に其の成績を擧ぐれば左の如し

◎輸移出玄米● 總數一萬九千五百六十八噸中特等へ格三百九十二噸一等一千七百九十六噸二等一千百一十三等一萬二千九百六十五噸等外一百二十八噸此内三等へ格三千二百十八噸此内三等品は生産調を命じたるは夾雜物に因るもの一千六百七十二噸容積不足によるもの九十八噸あり其生産地別を列擧すれば水原郡一千六百十三噸振威郡二千二百二十二噸[illegible]

道一千一百二噸、全羅北道三百七十噸、原道一百噸、京畿道一百噸等なるが仕向地の主なるは阪一萬九十二噸釜山五千一十噸大邱六百八十三噸其他なり各檢査所の檢査は結は左の如し

地	總數	特	一	二	三	不合
仁川	[illegible]					
平澤	[illegible]					
水原	[illegible]					
烏山	[illegible]					
計	[illegible]					

◎仁川搬出玄米● 總數二千五百三十七噸内三等へ格品一千九十五噸にして他の一千八百四十二噸は不格品して三等へ格中調を命じたるの、夾雜物の多量に因るもの百二十三噸包裝の不良二十四噸なり其生産地は振威郡一千九十七噸、水原郡四百十七噸、南一百二十九噸なり其仕向地の主なるは仁川一千六百八十六噸大邱八十六噸其他なり

◎輸移出中白米● は總數三千九百七十八噸内特等一噸三等三千八百五十五噸不合格二百十二噸容積不足の爲め再調を命ぜられたるもの八十二噸あり仁川搬出白米は一萬一千八百六十七噸に達し三等へ格三千八十七噸不合格は一萬一千四百噸にして其の生産地別左の如し

◎移輸出大豆● 總數三萬七千九百五十噸内一等へ格五十一噸二等三百十四噸三等三萬三千八百二十五噸不合格五噸なるが此内調を命じたるは夾雜物多數に因るもの四百に過ぎざるが之を各檢査所別にすれば左の如し

地	總數	一	二	三	不合
仁川	[illegible]				
平澤	[illegible]				
水原	[illegible]				
烏山	[illegible]				
計	[illegible]				

◎材木の地元相場は高くなる許り

安東縣にて 一記者

安東の木材界は六月に入つて景氣頓に加はり材價も向上の狀況なりしが七月に入つては更に騰し

◇未曾有 の活氣を呈せり昨年の例を見るに六七月の交に於ける材木多き時期は一般に材價は押しの例なるに今年は全く是と反對にて益々强硬を加へたるは一般價の騰貴に騰貴したるもの、み見るべからざる理由あり其の

◇主なる原因 は種々あるべしと雖も鴨綠江材が漸く滿方面に販路を得たるは圏外に躍出したるは注目に價する要因なるべきかにして又一方に於ては船腹の不足に伴ふ運賃の騰貴と從來南支朝鮮等の市場に材の不足を觸らし

◇從つて 在荷拂底となりたる爲め勢ひ鴨綠江材の需用を喚起したるも主要の一原因たるや論なし然るに採木公司の分のみにして約五千臺に達し昨年の同期に比し

◇約二倍 の出袋を見たるは日本津其他北滿方面の買氣旺盛なるを以て新朝鮮等に於いても需用に對する

値上げ

の已むを得ざるに到るべしと云ひ待せられし矢先昨今の造展に伴ひ軍隊の送り出しに滿鐵の運送は別として鐵道の送は消殆んど

◇杜絶の 有樣なれば或は木材市況に一大障碍を來し價格に押しを豫想するものあり亦一方には重要品として大量の注文あるも、後日の豫想方面に於ける

◇必需品 の注文あるにいては反對に價格騰貴の現象を見ならんかとも觀測せらる採木公司の見る所はこの處一寸一吹きとも云ふべき氣遣ひ狀態にありと云へり（安東縣）

日用品市場

（第一浦）

品目		價
白米（升）		三八
小豆（升）		三九
酒（升）		二五
醬油（升）		六五
昨噌（百匁）		四〇
味淋（升）		一三〇
鷄卵（十）		〇七
砂糖（百匁）		一九〇
正宗酒（升）		九〇
荷種（百匁）		一〇
馬鈴薯（百匁）		〇四

品目	價
精麥（升）	一二〇
砂糖（百匁）	一九〇
ビール（本）	三五
醬油（升）	六五
サイダー（本）	二二
燒酎（升）	[illegible]
蜂蜜（合）	[illegible]
梅干（百匁）	[illegible]
葱（一把）	〇五
りんご（個）	〇五
大根（本）	〇二
午蒡（本）	〇三

◎江華近信

◆織物業の獎勵 京畿道江華郡に於ては從來織物業の改良を圖り大いに獎勵せられ居れるが邦人の手に於ては業者の組合を設け織物業者の年弟職工及び子弟を集め本月二十四日より十日間の豫定を以て站に於て染織講習會を開く

◎春川近信

◆金化郡間道路 江原道金化より北の忠州に至るべき二等道路中の事は着々進捗したるも鐵原より官原郡面を經て洪川邑に達る間、工事中の所の直營区間は本年五月以來七不中張所に於て力行し事の進捗に努めつつありしが高を以て進捗するを見るべく其上は春川洪川間も自動車の開通を見るに至るべし

◆呼商署 春川郵便局に於て春川自動車組合に依り一等の諸會を開き八月十一日には一等二十二、補充兵八十四一名

◎鐵原近信

◆市區改正 江原道鐵原市街は狹小で車馬の通行の爲め區改正の要ありしが今回其筋の許可を得て近く實施せらるべし

◎犯罪が減た

◇理由を研究すれば◇

犯罪の方で常に最も多いのは窃盜であるが其外詐欺或は詐欺なども少からずあるが…

◎魚籃に滿つる沙魚

◇川では女子供でも◇

秋の鯊は一家總出で竿を擔いで來る者が多い…

殆ど釣の素人玄人で

仁川の海岸と云ふ處は大抵滿たされて居るが多くは川尾島の四方の岸壁に群がつて居る…

釣の服裝の秀逸な

者は其盛りに大きな鯊を、一時に五尾六尾と釣り上げて居る…

得て失敗に終易い

…

幾分でも

仕事はあるが今では…

暑い盛り

…

◇些の進歩

…

◇生活狀態

の事情に左右せられた…

◇急に激減

して七月は僅か六十四件を數へ…

◎窃盜

府内北米倉町所不定某は大正六年十二月卅一日…

演藝案內

壽座 本町三丁目
喜劇連鎖義士廻り、女藝者（新派）

大正館 觀物町七三 電話
侫僧 秘密の王國 全三卷
偵察 僕金助 全三卷
連續大活劇 七色指輪 全四卷

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番
新派大劇 七色指輪

有樂館
人情劇 旅の女 全五卷
人情活劇 眞心 全三卷
軍事劇 家なき兒 全二卷

黃金館
悲劇 最後の猿飛
活劇 萬弗の秘密
花咲く家 全三卷
道中膝栗毛

中風病

此病氣は家傳の妙藥にて困難した方に一千八名を…

照會の方に贈呈す

兵庫明石中町 古忠兵衛

直治水の三大特長

（一）眼科最新高貴藥を配伍す
（二）タッタ一瓶にて効驗現はる
（三）根本的に視力を强くす

外の目藥で効なき人は試みよ!! 驚く可き効ある目藥は

直治水

主効 □トラホーム □やにめ □はやりめ □うみめ □かすみめ □めくさ

其他眼病諸症に偉効あり

眼病良藥 直治水本舖 大阪 丹平商會藥房

面白い懸賞

（一）眼病良藥直治水の三大特長とは何々ですか。
（二）眼病良藥直治水の瓶に何と書いてありますか。
（三）此廣告を見た新聞名。

一等 貯蓄債券（五圓券） 一枚宛 五人
二等 スワン萬年筆 一本宛 十人
三等 ツバメ齒磨 一袋宛 三百人

規定 □投書はハガキに限ります □住所氏名を明記する事 □宛名は大阪市南區… □締切は九月二十日限り □發表は市内新聞紙上に…

甘泉亭

國內の秋色目に鮮かに遠望の景亦絶佳運動場あり御家族樣方御遊場として絶好又京城一のお月見場たるは既に皆樣御承知の處です

栗飯 會席御料理

京城東四軒町五七 電話二九八六

うるほい油

水の滴るような美くしい髪の黒髪はみな本品を御使用遊ばされるによる…

京城 本町 非常

大阪 森源之助

魚釣具

投網 卸小賣

京城 本町 吉備商會

商況

東京期米特電
未着

兵庫期米特電
未着

大阪株式特電

銘柄	拂込額	十三日後
宇治川水	五〇、〇〇	…
阪電鐵	五〇、〇〇	…
東洋紡績	五〇、〇〇	二〇九、四〇
合同紡績	二〇、〇〇	…
鐘淵紡績	四〇、〇〇	二五六、一〇
河上新株	四〇、〇〇	二三六、九〇
東洋製糖	五〇、〇〇	九九、五〇
大阪商船	五〇、〇〇	二三三、〇〇
日本郵船	五〇、〇〇	一〇八、五〇
河上新株	五〇、〇〇	一〇〇、一〇
堂島米穀	五〇、〇〇	—
東京株式	二五、〇〇	…
大阪株式	二〇、〇〇	一四四、〇一

大阪三品特電
十三日後場
九月限 四一〇、九〇
十月限 ……
十一月限 ……
十二月限 ……
一月限 四〇〇、〇

大阪期米特電
未着

下關期米特電
十三日後場 雲々小雨 天氣 … 小倉
寄付 高値 安値 止め（當限 中限 先限）

●綿布漸く頭打 綿布は昨午後大阪入電三銘十四圓二十七錢と不勢の報を受けたるも逞猛り狂ひたる崩旬とて此程に頭打となりたり

●氣疲れ模様 仲間取引は何分暴騰後の事とて一般に氣疲れ模様となり

●三二エー票の四百二十圓見當 取引は三二エー票の新入荷は何分暴騰後の事とて一般に手堅く構へ居る模様にて入手も漸く減じたるが一方賣手筋は何れも値頃高く内地相場に比較しても尚ほ大阪市場の逆行を見るべく此邊天井と見て大過なし

●三品は不勢 大阪三品昨前場は米棉二兩安にて四百十一、九十錢先四百圓丁度昨祖相殿の分も暴落なる事後にて分明せり、同入電は當限四百九十九、十二錢先四百圓、十錢にて同比し一、二圓方引戻せり

●淸酒値冷卸 酒問屋値上げの内定は既報せし處にて只昨上げ價格の程度に付ては同業者中多少の異論なきにあらざりしが此後漸く意見一致し一升に付十錢方の値上げに確定し十月一日より實行することとなり

●瓶詰の値上げ 仁川酒商組合にても同じく二圓上げに決定したる由なり瓶詰は去る十月既に一圓五十錢方引上げたるを以て今回は大小を通じ一箱に付一圓の値上げとなりたり

●値上げ免れ難し 本年は一般に値上げの内定は既報せし處にて各酒造家も輸送の關係上例年より移入の遲れたる爲め値上げ免れ難く十月下旬頃より十一月より實行せらるるに至るべし而して之が値上げは普通二圓見當なるべし

●眞綿は崩落 眞綿は産地の鮎に比し需要地筋の手控へ居たる事とて大阪入金五百五十圓見當と云ふ崩落を見たり

●御祝儀商内 （衆物）

二千二十五仄

●羅紗市況强調 東京毛織の火災損害の爲め羅紗市況は一時愛作の出鏡りを見せ居たりしが其後に商勢大いに於て保ち合裡に經過し居たるも昨今更に强調を呈しつつあり

今後尚軟化 ……

●自然注文品は之を市場に求むるより外なし

●制子毛好調 産地の商况に對し輸入の少なき爲め内外共に旺盛なり

●品拂底 製品ブラシの需用内外共に旺盛なるに原毛たる本品の輸入思はしからず市況ますます堅調なり

●特に頑强 ……

●鍋釜類拂底 （金物） 鍋釜類は原料鐵の騰貴と共に價格の暴騰を見たり而して製造者の製造能力は更に增加せず依て拂底を告げつつあり

各地商況

●洋紙更に昻騰 洋紙は昨年以來一般に約定手控の模様にて各自持品手薄の感ありしが更に近來に至りて内地相場の昻騰と共に一層猛烈なる騰勢を加へ一般に品薄の狀態を示しつつあり

●五十錢の見込み 今後先づ一圓乃至一圓五十錢の昻騰を見込むべし

●一割以上昻騰 印刷紙は三十二三錢以上となり前より一割以上の昻騰を見たり

●板紙甚しく 板紙は殊に値上りを見せ新規入品は一噸百八十圓にて取引され居れり

●七圓四五十錢 小包値は一噸百八十圓見當にて

●模造紙 模造紙は品切れの有樣にて價格も騰貴し

●錢以上に跳ね上がり 一躍五十錢以上に跳上りたり

●穀物組合 京城穀物組合は十四日より例の如く午前十時より開市し取引は從前の如く各自隨意に行ふ

●盛況裡に 組合の加入者全部の出席にて盛況裡に開會せり

下關相場

稀薄にて自然製品品薄となり古銑の出廻り昨今品切の模樣にて従つて本年は値上を見るべし

南大門廻穀

東米京米五四新安州麥一〇〇叺 東豆川鉄四五〇叺 島致院白六六叺 鐵原粗二六叺 全羅白米五七叺 新安白二七叺 島致院三叺元山白米二七叺 東豆川鉄四五〇叺釜山小麥六八叺

仁川正米

出來値は河所物新玄米三十三圓十錢 三十二圓五十錢 三十圓八十錢 三十三圓十錢なり

生魚市場

京城日丸市場 本日は大部分元山物にて仁川物は僅かに釜山物の三少數の廻着ありしのみにて釜山鮎も少なく全體に荷薄なりし從つて氣配強勢なり

▲たい四〇▲さわら三二▲すずき二二▲めじろ二〇▲はも二四▲さば一五▲にべ一六▲さより二〇▲たこ二四▲あゆ四〇▲たら四

仁川期米

十四日前場 當中新規買賣停止中先限は二十四圓八錢安值…… 四錢高

寄付 ……

持合氣乘 ……

薄めたり

市場雜觀

十三日は朝來天候晴天各地商況も引續き好調にて當地先二十四圓〇五錢と二高に寄付きたるも買物多く七錢と跳ね ……

各地商況 十二日

▲木浦米況（十二日）何れも不申告の爲め保合にて氣配更に振はず三等玄米二十九圓にて小口の取引ありしのみにて一般に閑散を極めたり

▲穀物 ……

▲同 ……

仁川豆米取引所 十四日の十一月限

	寄付	高値	安値	止め
前場	二十四圓	二十四圓	二十四圓	二十四圓

釜山市場 十三日

▲玄米況（京城合同） 昨今の廻着は不申告にて……

仲買店

仁川米豆取引所仲買人 今仲買店 電話二六二番

仁川米豆取引所仲買人 仁川港町 齋藤榮之助 電話……

三千餘石の解合

當限に於ける三千餘石の解合成立せり ……

鮮地は秋日和の憂

本年作柄は樂觀 ……

其後の天候良好なりし爲め更に增收の見込十分なり ……

白米標準値

四十圓

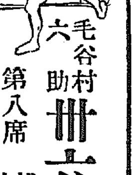
北濱たより

▲時期熟せず ……

立會法改正 ……

世六番角力

毛谷村六助 第八席 桃川桂玉口演 浪上義三郎速記



…新陰流の劍法者京極内匠は佐々木の家を浪人して京都へ参り御弓師の柴田賢道の世話で中國十州の大守毛利右馬頭輝元侯へ隨臣し食祿三百石を賜り居りましたが此奴は生來剛慢な奴で殊に佞奸な曲者で毛利侯に仕へて居る八重垣流の劍法の名人中興の眼疵と云はれた芳岡一味齋と申しまして毛利家三代に仕へ年はもう七十に程近う御座いますが武術は頗る名人で祿高は三千五百石を賜り殿の寵愛も淺からず京極内匠は何とかして一味齋老人を押し込めなば己の出世と頻に御前試合を望んで居りました、すると芳岡先生に多くの門人のある中に今代稽古をして居りますのは衣川彌左衛門此人は先生に代り平常稽古をして居ります次席に春影藤造と言ふのが居りまして此春影藤造は小供の時より芳岡先生の手許で仕込まれたのですが、幼ない時には誠に太刀筋も好かつたが年を得るに從ひ腕が上達しませんで腕の鈍きを思はず師匠を恨んで師の御教へが悪いからと己の至らんのを思はずと云ふ男が大騷動を起すもので年も二十二歳になり一味齋には娘が二人あり總領をお菊と云ひ次をその三と云ひ姉は二十でその三は十七でございます、最う七十に近い年で斯の樣な若い御娘子があると云ふのは年も老つて御新造を迎へましたから春影藤造は二女の御園に深く戀慕しまして、折を見てはお園の傍へ寄り甚だしきに至つては長々と艶書を認め送りましたから、その旨爺と父一味齋に告げましたから一味齋も、アヽ困つた男だわい今は肝心な修業盛りの年頃の事を思ふ所ではない、武術に心を寄せるべき所沙汰の限りな奴と一日誰れも居らざるを幸ひ藤造を側近くへ呼び其心得違ひを諭しましたが藤造は返つて主を恨み遺恨を存じ…柴田賢道が推擧した京極内匠の許へ入門致しまして師一味齋の身の上につき散々に悪口

ました因よりの京極内匠も虎狼に等しき奴ですから俚俗に眼の寄る玉と云ひ、藤造は内匠の氣嫌を取り内匠も藤造を又なき無二の友と思ひ僅の内に殘座流の極意を與へました、愈々藤造は喜びました、京極は此藤造より段々聽き及んで天晴一番頭を勸めて居ります小川左衞門大岡村源左衞門此兩人が芳岡一味齋と不和の由を聞いて早速兩人の許へ内匠は春影藤造を案内して過分の進物を持參して近きに参りました芳岡老人と試合の儀を頼み入りました、固より岩村も小川も芳岡とは平常より面白からざる事がありますから心好く承知を致しました、内匠は喜んで歸り扨て小川岩村の兩人より御家老桂能登守殿へ願ひ能登守は右馬頭輝元侯へ此由を申上げ亂國の時代ですからそれは面白からうと大主も御滿足の體で御家老は其の旨を家へ通達しまして

一日に一度も御目通りをした事が御座いませんから殿樣は内匠と云ふものは徹塵流の劍法は其妙に達して居ると云ふ事は耳にして御出になりますから愈々日を選み御家老能登より芳岡一味齋の許へ御達しになりました、一味齋は大いに驚きこは容易ならざる事が惹起つた兩虎爭ふ時は一虎は傷付くアヽ困つたものだ京極内匠を打込んだここで拙者の學にならず、打負ければ我等の恥のみならず御上の御威光にも係はる譯と心配したのは家三代に仕へた一味齋の事ですから一應御家老の許迄試合の儀御斷り致しましたが最早殿樣も御承知の事なれば今更見合せる譯にも行かず、之により四月の十五日と御前試合の日は定まり當日は京極内匠は黑木綿五ッ紋の付いた羽織、同じく定紋付いたる衣類、綿の袴右手には三尺三寸肥前國大村の産赤樫の筋金入りの木劍を携へ身の丈は六尺三寸一目見ても豪傑の風手備はり一味齋は同く黑木綿の袴を穿ち羽織小倉の

暦 九月十六日 九星

舊八月十二日 丙寅 本命四綠 暦 …

▲一白 ……▲二黑 ……▲三碧 ……▲四綠 ……▲五黃 ……▲六白 ……▲七赤 ……▲八白 ……▲九紫 ……

▲木炭缺乏の原因 安東市場に於て木炭の拂底を告げ一般家庭に恐慌を起したる事は前報の如くなるが其の節に於て其の原因を調査したる處によれば昨年の買占等の噂なきにあらざるも噂のみにして其の眞因は本年の生産明かに於て降雨多量ありし爲め搬出の道路泥濘深くして運搬不便なりし等にて現に産地に於ても現品は殆ど拂底しつつあり

安東縣近事

石川には純きを呈し殿に向つて禮をし正四ツ時となり能登守はやつこ列座へ著きました

▲小倉領事送別會 安東商業會議所役員及び滿鐵安東地方事務所長より鐵道事務所その他各方面に發起にて小倉領事送別會を開く筈にて目下準備中なるが小倉氏は十二日午後七時より公會堂に於て盛んなる送別會を開くべし

▲式村氏出張 安東鐵道線工事材料部吉林方面へ出張せり

▲取引頗る閑散 時局の爲め一般財界殆ど休止の有樣なるを以て貨物の取引なく日用雜貨等も在貨拂底にて一般の商家は困難しつつあり

▲木材大輸送 安東縣領の木材は昨今大輸送ありて木商店には時局の爲め其筋の大口注文あり過日來朝鮮銀行の紙幣にて約十七萬圓の取引ありたり

▲補助貨依然缺乏 安東に於ける補助貨中十錢二十錢は潤澤なるも五錢白銅一二錢銅貨は依然として缺乏し小商人の釣錢は主として郵便切手を使用しつつあり

汽車發着時刻表（九月九日改正）

▲京釜線南行（上段は不定時列車）
京城發 前九、三〇 後八、〇〇
南大門發 …
釜山着 …

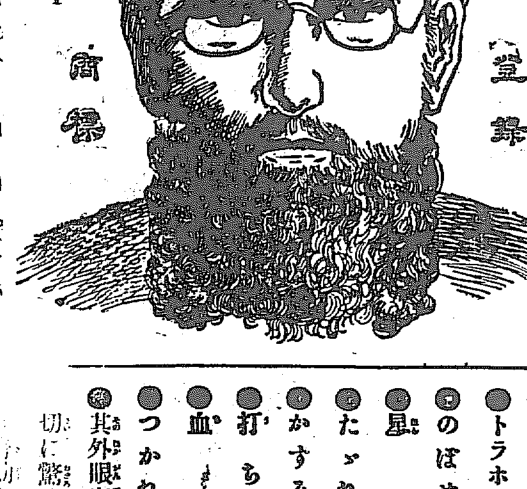
▲同上北行（下段は不定時列車）
釜山發 …
南大門著 …
京城著 …

▲京仁線
仁川發 前八、二〇 …
永登浦發 …
京城著 …

▲京元線
南大門發 …
元山著 …

▲湖南線
大田發 前 …
木浦著 …

▲群山支線
裡里發 …
群山著 …



蛔虫諸症 疳蟲 蟲熱 夜泣の蟲 乳あまし 蟲腹痛み 疝熱の蟲 蟲胸惡く 勞熱の蟲 蟲せき 驚風の蟲

岩崎大海堂セメンシ藥子 美味なる虫下し最良藥 登錄 さんとにねくわー 商標 本舖 大阪天王寺烏居前角 岩崎大海堂 ▲内外藥店にあり

美味なる虫下し最良藥 定價 五錢 十錢 廿錢 五十錢

清寿丸 清寿劑 内用 外用 併用せよ面白い程能効あり 本舖 名古屋 荒川長太郎 全國各藥店にあり

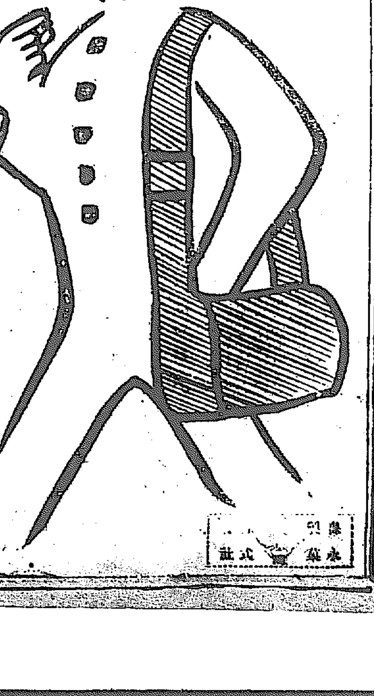
りん病 淋病消渇で困る方切手三錢送れ多年の慢性も自宅で秘密に治す妙藥を無代で教へてやり 武藤亀吉

酸素療器 登錄商標

▽オキシヘーラー▽ 實驗例說明書贈呈△

▼オキシヘーラーの顯著なる事使用僅か五分間を出ずして三乃至五目目の血壓を九め一時間を繼續すれば實に十乃至二十目目の活力を增進す試に血壓計、脈波計等を以て驗せば其調節の狀を明にし又各自は脈搏、呼吸の整調に依て自覺せらる▼靈妙なる磁氣應用の本器は斯して血液中の酸素吸引力を增大し健康の元素を補ふが故に難治の疾病を根治するに空前の偉力を有す論より證據使用者は忽ち脈搏强實となり全身の温暖、呼吸の深長を感じ次で熟睡、解熱、鎭痛、食慾の亢進、兩便の快通等生理的本能を回復するの神速なるは實に天下の奇蹟也
▽特色（使用法簡易効力永久不滅にして電池の如く消耗する物にあらざれば器械購入以外永遠に何等費用を不要）
正價金參拾五圓

東京市牛込區築土町三十一番地 オキシヘーラー獎勵會 電話番町四六八九番・振替東京二七一七二番



7—27

第五版

京城日報
將に來らんとする内閣更迭に就て

新内閣の組織は、いよ／＼確定的のものと見て差支なかるべし。而も其理由に至りては、頗りに世間に取沙汰せらるゝ如き、近頃のため言責を引くといふにあらずして、首相年來の病氣が、近來著るしく増進し、到底國家の重任に堪ふる能はず、僞に骸骨を乞ひ、賢路を專らにせんといふに在ることは、本紙が既に一讀に報道したる通りなるを以て、單純なる理論上よりいへば、辭職は首相の一身に止り、他の閣僚は之がために何等の拘束を受くるものにあらず。雖も、首相が引退する場合には、其他の閣僚（陸海軍大臣を除外として）も之と進退を共にするは、從來の慣例なるを以て、今回とても多分之に倣ふことなかるべく、即ち内閣の總辭職を見ることならんと察せらる。而して其の時期は勿論今日より推斷すべきにあらず、或は本月二十日頃ならんといひ、或は來月上旬ならんなど、とて諸説紛々たるものあるも、要するに揣摩臆測の所產にして、何等捉ふべき所のあるものなし。而も現内閣は其の既に着手したる政務に一段落を告げ後繼内閣に煩累を貽さざるまでの、一切準備整ひたるの日は、即ち辭表捧呈の日なりと見るの外なし。是れ國家の大臣が、其の進退を慎重にし、所謂内閣抛出などいふ、俗間流行語の示す如き無責任を許さざる所以なり。

寺内伯が骸骨を乞ひたる後、繼承内閣組織の大命が、何人に降るべきやは、固より草莽の私議を許さざる所にして、世上に行はるゝ、百種の揣摩臆説の如き一も取上げていふに足るものなし。此際唯心得置くべきことは、内閣組織の任に當るものは、政黨に立脚地を有するものならざるべからずといふの謬見なると是也。英國流の政黨を本位とする内閣更迭は、彼の國情に於る必然の成行にして、此の如くならざれば憲政の行はれずといふ理論の結果にあらず。若し英國流の内閣更迭が、憲政の必須的條件なりとせば、戰爭以後に於けるアスキス氏の内閣も、又ロイド、ジョージ氏の現内閣も、共に憲政の本義に違背するものといはざるべからず。何となれば是等の内閣は政黨よりも寧ろ人物を本位とするものなればなり。而も英國人は一人として右の理由を以て異議を唱へたるを聞かず。唯其れ我國に於て内閣組織者の常に政黨首領たることは、實は其以外に此の如き重任に堪ふる人物なく、又政黨を除外して列閣の人材を網羅する能はざるがためのみ。然るに全く其の歷史と國情とを殊にし、又人物を登用し得るの我邦に於て、必ずしも英國の顰に倣はざるべからずと主張するが如きは、抑も何の意ぞや。然りと雖も吾人は決して政黨の勢力を無視して可なりといふにあらず、既に政黨なるものが存在し、少くとも衆議院内に其の勢力を張り居る以上は、國務に都合好く政務の進行を圖るがために、常に之を考慮せざるべからざるは勿論なり。畢竟内閣組織の大命を拜する者が、政黨以外の人物なりとて固より毫も差支なきも、又政黨首領なりとも何等の故障あるべき筈なく、要は其の材幹識見德望の如何を問ふべきのみ。

吾人は新内閣組織の大命が何人に降下するやを知らず。平田子若くは清浦子、若くは伊東子の如き、政黨以外の人が此の重任に膺ることも、又世評の如く政友會總裁原敬氏が之を拜することも、其間に何等憲政上の議論あるべき筈なきを信ず。且つ寺内伯の辭職は前にもいふが如く、全く病軀大任に堪へざるに在るを以て、たとひ其他の閣僚が舊態に仍りて辭表を捧呈するとも、或は其まゝに留任するものありとも、是亦何等憲政上拘格あることなし。是等は當に世論の種に上り、紛擾を釀す所以なるも、我が憲法の本義より見て全く無意義の空論たることを明確に置かんことを切望す。然らずんば將に來るべき内閣の交迭に對し、例の謬説謬論の迷霧裡に引き入れらるゝの虞あるべし。

時局と國民思想（九）
貧富相和して財寶生ず
樞密顧問官　一木喜德郎氏談（其二）

然し之等の事情に富を成せし人は其の富を以て國家社會の爲め傍若無人の振舞をなすものが往々ある、從つて國民賤視の標的となるが如きは甚だ悲しむべきことである、夫故に過日の如き騷動の責を一部分でも負はしめらるゝやうなことになるのである、而も此の事たるや今日に始まつたことでは無い、昔からのことであるから富者はこれを用ふるの道を知らなければならぬ、而して其の有する富たるや言ふれば夫れは社會の恩惠から得た所のものと云はなければならぬであるから富者は乃ち此社會の恩惠に酬ゆるの途を取らぬと社會嫉視の標的となるのである、畢竟富者が之を知らざるより致す罪である、夫れで私は常に富者に望むのは我國の昔にも其の事例はあることなれば宜しく社會問題の研究をして貰ひ度いことである、富豪は決して自ら衛るの道を知らないでも無からうし、又平樂主義の人のみでも無からう、若し左樣に見らるゝは社會研究の足らない結果として起るのである、個人々々に於て又は互に相與つて社會の情勢を考へ施設を研究したならば至極良からうと思ふ、即ち地主と小作人との調和とか或は資本者と從業者との調和などいふことも研究して見たならば自から其取るべき途も分明する譯である、過日の騷擾も階級の衝突が著るしくなつて勃發したものでは無く、油斷すれば何時でも起る位の程度に於ける現象である、而してその騷動の如きは此の經濟界の急變の爲め新調和を要求した形であつたと言はない

話しは古いが『貧富相和して財寶生ず』といふことがある、自分一個の力で出來ることゝ思うてはならぬ社會の調和が出來て富者が出づるのである、富者があつて國の富みも出來るのである、調和といふことの大切なるは斯くの如くである、昔の如く職業不均等の時代は知らず今は何處までも自由といふことになつて居るから調和の途につかなければならぬ、されば富者と貧者と相和を得ることにこゝに努力すべきである（東京支局）

哈爾賓畫觀（十）
號外　鶴田吾郎

設ら暢氣な露西亞人でも自分達の國土を自國人で治めることが出來なくなつて各國の兵に荒しく踏んだもの、西伯利の天地が心配になつて溜らないのは無理もないハルピンの露字新聞は毎日のやうに號外を發行して市外に出してあるところは少しは戰時氣分もする

獨軍早くも下り坂
兵は出征を拒み出した

歐洲西部佛國戰場に於るフォッシュ將軍麾下の聯合軍は連戰連勝目ざましく敵を壓迫し敵は退却に次ぐに退却を以てし彼のアラス西方からカブレー、サンカンタン、ラフェール等を經てランスに到る所謂ヒンデンブルグ線も漸く潰れんとして前線上最も重要なる地點として敵も味方も認めてゐたランスの要塞まで今は聯合軍の手中に歸したと傳へられ獨軍第五次攻勢の失敗に反して聯合軍の優勝は一般に認められてゐる所であるが而も獨軍は之を以て豫定の退却と稱してゐる而して獨逸宰相ヘルトリングの如き聯合軍の優勢に對して曰く『獨逸の退却は戰線短縮整理の都合上で決して聯合軍の猛撃に堪へ兼ねてではない而も聯合軍は我戰略上の設定退却に對して敢て多數の兵を失ひながら堂々の勝利を誇るに至つては寧ろ片腹痛い次第である』と勿論是は敗將の泣言に過ぎない現在獨軍は退却に忙がしく那邊に於て聯合軍の追跡を喰ひ止むるかが問題で察する所に依ればヒンデンブルグ線を撤退して後方リールの線か又は他の孰れの線に依つて聯合軍に對せんとするにある事は明瞭であるが其地點の那邊であるかは不明である……人のクルップ會社の職工を遂に西方戰場に送つたり在露獨逸前隊を西部戰線に轉戰せしめたなどは一面に於て其間の消息を語るものである然るに獨軍は漸次兵力其他に缺乏を告ぐるに反し聯合軍は米軍の增兵に依つて威力は更に加はる一方西伯利亞方面の事情も日と共に獨軍不利の狀態に在る今日であつて見れば獨軍が何時までも現狀を維持するに於ては自滅の外はない從つて獨逸が如何の態度に出づるかは注目に値する事で斯くの如くであるに加へて最近食糧大臣の言明に依れば獨逸内地における本年度の收穫は天候不良なりしため平年作以下であつて露獨講和の結果獨逸勢力下に入つたウクライナ方面からの收入も亦現狀からすると豫期し能はぬといふにあり又八月以降全國に亘つて無肉週を定めたりする等食糧問題は今は重大となつて民心の動搖も甚しく内地から戰場に送らるゝ兵士は極力出征を拒み且つ戰場にある兵士も士氣沮喪して更に振はず加ふるに國内にあつては非併合派漸く擡頭しつゝある狀態にあり獨逸の今後は誠に注目に値するものがある（某消息通談）

並行線（八十）
瀧閑村

親戚の人々が入代り立代り來て祝儀の辭を述べて行つた。『お目出度う。』と云はれても、宣太郎は正月の賀詞を受ける位にしか胸に響かなかつた。

お村も來たが、直に歸つた。『こう云ふ時でも、』と宣太郎はまだお村に逢ふのが快くはなかつた。

乳、兩便の世話、入浴、保温の爲に湯たんぽの出し入れ——家の中の空氣はまるで一變した。泣く、欠伸をする、嚔をする——小さくても、人の兒であつた。此小さいものを中心にして、周圍の人々は行動かなければならなかつた。

日が經つて此小さい者の權威が加はつた、おのぶは妻で無くて母になり。宣太郎は夫で無くて父になつた。何を訴へるか判らない、激しい泣聲は、何うしても棄て置く事の出來ない力を持つてゐた。それでも宣太郎は役所で仕事をしてゐる間は、忘れてゐる事もあつたが、おのぶの心は四六時中傍へに寢てゐる我子の上にあつた。

隣の内儀が劇に汚れ物を洗ふのを、夏子は感心して見てゐた。子を持つたことの無い夏子には、汚らしい顏もせずによくあゝ洗へる、と思はれたのである。

産婆は毎日來て嬰兒に湯を使はせて行つた。

『斯う眞赤なお兄さんは、きつと色が白くなりますよ。』と人形でも扱ふやうに手際よく、嬰兒に浴させた、おのぶは寢てゐ乍ら、湯の中で顏を動かし、手足を動かす嬰兒を瞳かず眺めた。

『貫郎、モウ名を考へて下さつて？』と、十一日の晩におのぶが聞いた、嬰兒に笑を含んだ眼をやり乍ら。

『まだ考へて無い。』

『でもモウ届をしなけりやならないでせう。』

『それもさうだナ、誰かに付けて貰はうか。』

『さうねエ。』

宣太郎は、兄、岳父と名付親に頼むべき人を物色して見たが、そんな尊敬を捧へる人は近くには無かつた。

晩飯後、宣太郎は仕事の上の雜誌を見たりした後、嬰兒の名を考へて見たが何に準據して考へていゝかが第一判らなかつた。餘り六かしい名も困るが、さりとて餘り平凡なのも將來の幸に關するやうに思はれた。

一同が寢やうとする頃に、嬰兒は急に泣出した。

『何うした／＼。』

と母が乳を含ませたが、どうしても泣止まない。賺せば賺すほど激しく泣き立てた。若い母は直に困つてしまつた。歸り仕度をしてゐた隣家の母はそれと見て、

『何うしたんだらう、ごれ／＼』と抱き取つて、搖すぶつて見たが、依然として泣き止まぬ。

『著物に針でもくすがつてゐはしないか。』と蠟燭を點けて、著物を調べたが、何事も無かつた。

『襁褓を犬でも喰へて行きやしないかね』と隣家の内儀は戶外へ出て見たが、それも何事も無かつた。さうかうしてゐる間に、嬰兒はピタリと泣き止んだ。一同はホッと吐息した。

翌朝宣太郎は我兒に斯う名付けた。

『謳夫、――』

『何故謳夫？、好い名だけれど。』

とおのぶは訝いた。

『何故つて、好いぢや無いか、歸國で生れたからサ』と穩蔽したが、宣太郎の胸の内には獅子の吼が覗つてゐた。

新會員募集　學員募集

寫眞術速成講義

寫眞術は高尙なる應用範圍頗る偉大なれば以て營業となすも又娛樂とするも其益多大にして趣味最も深し。見よ付會則申込次第進呈
人物寫眞修整術
如何に巧妙精致の寫眞器械を持つて居られても本術の秘傳ともいふべき修整を知らざればとても滿足な結果は得られません本術は其の秘訣を何人にも分り易く説明す價送料共金四十七錢
東京市牛込區内振替東京二一五八四番　大日本寫眞學會
寫眞術獨習者の無二の好指南

最良辭典は時代の活用者の勝者なり

新譯和獨辭典
三高教授文學士小田切良太郎先生・四高教師アールフアール先生共著（十八版）
菊判紙數本千七百頁◆定價貳圓七拾錢郵税十二錢
◆本邦第一の和獨辭典として斯界に珍重せられ、高等の學生にして本書を有せざる者なく、行幸に調査を極む。苟も獨逸語を修むる人士の几上須らく本書を備へざるべからず。
文學博士上田萬年・文學博士上田敏兩先生共著

正譯英和新辭典（二十三版）
使用するに便なり益々價値を發揮す。是天下の通評也。今や全國各中等學校の指定書となり、需要殆ど無きなるは本書也。
袖珍堅美　一二七〇頁　貳圓參拾錢　郵税八錢

ローマ字びく國語辭典
文學博士上田萬年先生著
毫も假名遣の煩勞なく、直下に所要の語を見出し得て便利極まりなし。凡各語に英譯あれば和文英譯の適良參考書なり
袖珍堅美　一二五〇頁　一圓四拾錢　郵税八錢（二十三版）

英和熟語大辭林
四高教授文學士篠原一雙先生・四高教授文學士岡村清逸先生合著（忽四版）
四六版臘入一三二〇頁◆特價貳圓五拾錢　正價三圓　郵税十二錢
包容熟語語句六萬、譯文及行文は平易なる日語を以てし、解釋懇切詳密、排列は斬新なるシステムにより檢出に便なり、要するに本書は眞に於て質に於て英和熟語辭典の覇王なり。
各書内容見本進呈（往復はがき申込次第）
東京神田　富山房　振替一〇一
△富山房圖書出版目錄進呈——復往葉書申込▽

美味滋養の葡萄酒
赤玉ポートワインを
氣候が不順でも
惡疫が流行しても
恐れぬわけは……
毎朝毎夕愛飲してるからです
朝夕の一杯は百藥に優る！

日本海上保險株式會社
新株募集

日本海上保險株式會社新株式募集
額面以上ノ價格ヲ以テ發行スル新株募集規定
當社在來資本金參百萬圓（六萬株）ノ處大正七年八月貳拾參日臨時株主總會ノ決議ニ據リ金壹千萬圓（貳拾萬株）ニ增資決定シ增加新株式拾四萬株ノ内同年九月十日株主名簿記載ノ現在株主ニ拾貳萬株ヲ割當テ殘數貳萬株ノ内壹萬貳千株ハ左ノ方法ニ依リ公募ス

募集規定要項
一　募集株數　壹萬貳千株
一　募集金額　金六拾萬圓
一　申込價格　額面以上（額面超過金額ハ圓位以下ヲ附セザル事）
一　壹口ノ申込株數　拾株以上
一　申込證據金　一株ニ付金貳圓五拾錢（第一回拂込金ニ充當ス）
一　申込期間　大正七年九月拾日ヨリ同月拾五日迄（期日以前ト雖モ申込株數ニ達シタル時ハ締切ル）但郵便ニ依ルモノハ同日限リ期間内ニ到達スル事ヲ要ス
一　募入決定方法　額面超過金額ノ多キモノヨリ順次募入シ最低額ノ申込ガ超過シタルトキハ按分比例ニ依リ募入株數ヲ決定スルモノトス
一　第一回拂込金額　壹株ニ付　金拾貳圓五拾錢也
一　第一回株金拂込期日　大正七年拾月貳拾日迄
一　申込手續　當社所定ノ株式申込書及印鑑ニ申込證據金及額面超過金ヲ添ヘ當社本店ニ申込ムベキ事
申込用紙ハ當會社本店並ニ左記へ御請求被下度候

大阪市西區江戶堀南通貳丁目百四拾四番屋敷
日本海上保險株式會社
電話土佐堀　長一一〇番　一一一番　一一二番　一一三番　一一四番

東京支店　東京市日本橋區蠣殼町
神戶支店　神戶市榮町通四丁目
橫濱出張店　橫濱市本町二丁目
小樽代理店　小樽區色内町八丁目
名古屋代理店　名古屋市中區新柳町二丁目
門司代理店　門司市港町二丁目

◇米軍サンミヒエルに成効

米軍は十二日サンミヒエル西側に於て大成効を收めたり（合同信通電報）

◇英軍フランダース前進

英軍はフランダースに前進せり（合同通信電報）

◇小露農民撃攘

小露西亞農民は獨逸守備軍を撃攘しブルシロフカを占領せり（合同通信電報）

◇南方も徐氏選擧か

目下の形勢に依れば南方に於ても徐世昌氏を大總統に選擧するに至るべし（北京電報）

◇南北平和會議

近日中漢口にて南北平和會議開かるべし（北京特電）

◇川原少將

十三日東京發

此度派遣の聯隊司令官川原少將は十三日夜東京發征途に就けり（東京特電）

◇林公使著京

林公使は十四日朝著京せり（東京特電）

◇工藤平南長官

滿洲視察中なりし工藤平南長官は十四日午前六時奉天より來安元列車にて休憩し午後七時五分發列車にて赴任の途に就けり（安東特電）

◎墺國聯邦問題

維也納電に依れば八月十六日ボヘミア首府プラーグに刊せらるゝチェックの新聞紙は確實なる筋より得たる報道として墺國皇帝は墺國首相の承認を經且上下兩院右黨の同意を得て聯邦組織の準備中なり右は獨逸族、チェック族、波蘭族、南スラブ族、匈牙利に對し各別個の五聯邦を設立せんとするものにしてこれが準備の爲め獨立の一省を設け各民族の代表者を網羅すべしとの記事を掲げたるが其後も引續き是等の憲法改正案に關する記事は屢々諸新聞に掲載せられたるが八月二十九日墺國政府は半官的記事を新聞紙に掲載せしめ政府が黨派に憲法改正案を諭示せしと頻りに傳へらるゝも政府は自己固有の中央利益を保護すると共に憲法改正を準備するを以て主要義務の一なりと思考し遠からずこの可解を公表する心算なるが目下の所準備狀態にあるが爲め未だ之を公表する能はずと聲明せり本案に對し匈牙利新聞紙中にも反對する者多く八月二十日ライバッハに開催せられたるスラブ人種會議（スラブ人セルビア人クロアチア人チェック人波蘭人等參集す）に於て議長は墺國がスラブ人種を分割して而も之れを支配せんとする政策は極力排斥すべきものなりと述べたり尚八月廿一日……

◎猶太人の窮狀 [illegible] 千二百萬及び猶太に加へたる八十餘萬の猶太人の上陳情せり [illegible]

◎新航路と貨車増配要望

商議聯合會提出案

今回京城商業會議所内に於て開催さるべき全鮮商業會議所聯合會の提出案中には新航路の經營及び鐵道運輸に關するもの數案あり右は何れも識者の注意を惹き居れるもの

▲研究の價値　あるものゝ如く時局に對し所當に關する航路の經營に關しては調べ西南岸港地を起點として神戸、大阪、門司、下關、大連、芝罘、青島並に浦鹽等に至る區間に航路を開き命令航路とするか其他等の施設方を其の筋に請願すると同時に鐵道貨車の増配を要請して一面の逆境を救濟せんとするに在るが如く木浦の如きは從來定期航路を經營し來りたる大阪商船

▲積荷滿船す　尼ヶ崎汽船の大阪仁川線は時局以來漸次度數を減じ現今に至りては全く不定時となり而も一港にしてされば入港せず又朝鮮南西岸各港を經由せる長崎大連線は今春廢航となり共に物資の輸移出入に多大の不便を感じ居れり而して總督府は明治四十五年以來朝鮮全沿岸航路を朝鮮郵船に經營せしめ居れるも時代は變遷して單に沿岸航路のみを以て滿足せず內地及び滿洲支那に航路を擴張するの必要を認むるに至れり幸ひ總督府と朝鮮郵船との補助契約は大正八年を以て滿了し更に飛躍すべく目下調查中なることを聞き寧ろ此際沿岸小航路を棄つるも內地及び滿洲

▲支那航路を　擴張せられむことを望む旨を理由とし西岸各港を經由する阪神航路及び釜山を起點とし木浦、群山、仁川、鎭南浦を經由する大連線定期航路の命令を要望し居れり之と同時に鐵道貨車の增配を要望し居れるが之は近年鐵道貨物激増せるにも拘らず貨車の配給之に伴なはず輸物資の堆積を見ざるなし之が內地行貨物なりとせば釜山以東輸送機關縮小により遂に制限あるが爲め滯貨の已むべからざるを諒とするも鮮內の輸送にして往々貨車請求以後十日を費し最近に於て鮮內の雨覆ひなき貨物の如きは遂に至々利用の途なきに至り貨主は

▲多大の損害を　蒙る事實を發見するが如き狀態に在りて依て鮮內輸送貨物に對し貨車の配給を迅速ならしめんとするにあり

◎國民擧つて之を爲せ

臨時西伯利經濟援助委員長　目賀田種太郎男談

臨時西伯利經濟援助委員會の事たるや極めて重大廣汎のものであるが差當り目下の仕事としては地に缺乏せる諸物資の供給を能ふべく敏速に且平等に配給するにある、之が實行に就ては奸商等が不當の買占を爲すとか徒らに競爭を爲すとかのことを絕對的無からしむるにある、又此の事業たるや啻に現在の窮を救ふといふのみならず遠く將來を慮りて其基礎的の永久策を講ずることが最も大切である、併し是れは迚も一朝一夕に行ふことは出來ない、徐ろに調查の歩を進め、以て其の策を回らさなければならぬ、元來西伯利は此種共同的事業の起ることを昔から希望して居る、日露戰役以後獨逸より受けた壓迫は甚だしいもので、如何にかして此の獨逸の羈絆を脫したいといふ希望は漸次激烈となつて來てゐる、即ち獨逸は露國に對しては恰も戰勝國が其の領土に對するが如き態度で決心を以て其勢力の扶植に努めてゐたことは明かである、露國各地の情報機關なるものも素は中立國の人を以て組織されて居つたが其れが彼の革命以後即ちレニン政府となりし以來は獨墺の廣が此の情報機關の殆ど全部を占有するに至つたのみならず其れ以前より潛入して居つたと見ることが出來る、故に西亞が今日の如く亂脈の狀態に陷つてゐることに對しては獨逸として別に不思議とも何とも思はぬ寧ろ期待して通潮してゐたことである、聯合國は斯くの如く十數年來其勢力扶植に力を注いでゐた獨逸の政策を此度の出兵により全然撲滅すると同時に其の勢力を根本的に支援しなければならぬ、而して我國としては露國に對し永久的に何物をか考究する所がなくてはならぬ、故に此の事業は實に我國民に取て一大事である、今やシンジケート等の事に關しては大藏省に於て調査研究中に屬し今之を明言するの自由を有せざるも結局大なる機關を要することは疑ひを容れない、又彼の日露協會に就ては一方の經濟委員會の方が公然の機關たるに反して民間の機關である故に公然の機關よりも自由に仕事が出來るといふ點に於て其の特長がある、現にイルクック邊から貿易を賴んで來てゐる位であるが漸次出兵の效果により土地の秩序が恢復するに從ひ此の方の仕事は發展して行くことだらうと思ふ要するに東西伯利に對し西伯利に對しては實に之等の事業のみならず我國民として出來るだけの注意と調査と考慮を費すの必要がある（東京支局）

◎東亞煙草と軍需

東亞煙草會社にては西伯利派遣軍の煙草全部の供給を一手に引受くる事となり朝鮮總督府にては專賣局に於て陸軍の全部並に北滿出動軍の半數を依託する事に決定既に輸送を開始しつつあるがさらでだに一般煙草需要激増の際とて同社工場は非常の繁忙を來しつつあり但製造力に不足を憾ふる如き事なしとの事

◎九月上旬氣象概況

本旬の初めに半島は溫和なる氣候を以て經はる二日濟州島附近に發生せる小低氣壓は南部方面に局部的降雨を齎したるも其他は概して天氣良好なりしが四日より五日に渡り中部を橫斷せる低氣壓在りて全鮮に降雨を催し特に進路に當れる地方に暴風雨を起したるも進行迅速なりし爲暴風の吹續は短かり而して同低氣壓の通過に際し支那北部に增高し漸次東方に移動せるを以て旬末に至り北部地方に局部的降雨を見たる外概して良好なる天氣を持續せるが十日下半は偏北風多く稍冷氣を催せし沿岸にして釜山の一五粍を最多雨量とし其他の地は何れも平年量に達せず就中一部地方は著しく減少して同地方は雨天日數二日乃至三日中下旬にて特に江陵に於ては旬中僅に二粍を測りたるに過ぎず氣溫は平年より一般に稍低く平均氣溫は木浦の二四度餘より中江鎭の十九度餘の間に在りて前旬に比すれば各地を通じて二度內外の下降を示せり而して本旬中最高氣溫の三十度以上に昇りたるは南部一方に止り木浦の三一・五を高極とし大邱の三十度九之に次ぎ中江鎭及び雄基地方は二六度餘に下りたり本旬各地の雨量及び氣溫を示せば次の如し（總督府觀測所）

地名	雨量（粍）	雨天日數	平均氣溫（攝氏）	最高氣溫（攝氏）
楚山	一〇	三	一九・五	二八・六
龍岩浦	四四	四	二〇・八	二七・九
平壤	二三	二	二一・六	二九・七
京城	一五	一	二二・九	二九・九
仁川	一八	一	二三・一	二九・四
全州	八五	五	二三・七	三〇・九
木浦	六九	四	二四・四	三一・五
中江鎭	四八	五	一九・一	二六・[illegible]
雄基	八八	五	一九・五	二六・四
城津	九四	二	二〇・二	二九・一
元山	四二	一	二一・四	二九・七
江陵	二	二	二二・三	三〇・五
大邱	六〇	四	二三・九	三〇・九
釜山	一一五	三	二三・九	三〇・五

◎京畿秋繭共同販賣

京畿にては本月九日より來る十九日迄秋繭の共同販賣を施行すべく日割及び豫定石數左の如し
▲九日水原六十石▲十日龍仁六十五石▲十一日利川二十石▲十二日驪州四十石▲十三日楊平十石▲十五日[illegible]九石▲十七日加平百二十石▲十八日抱川八十石

◎學校敎員試驗

小學校及び普通學校敎員試驗は來る十月十八日より總督府に於て施行さるゝことに決定し四日官報を以て表されたるが右試驗日時割及び受驗者心得は十四日の官報を以て公表されたれば受驗者は同官報に依り了知さるべし

◎平北牛の移出

近來朝鮮牛の內地移出旺盛に連れ平北牛も亦釜山方面へ移出せらるゝに至り月中に釜山方面へ搬出せられたる牛は何れも四五歲位の牡良牛にして價格は一頭八十一二圓を以て買入れたる由其の大部分は釜山を經て內地に移出さるゝものなるべしと

人事消息

▲木村四郎氏（大邱地方法院判事）十一日夜入京不知火へ
▲杉野原幸藏氏（鮮銀濟南支店長）同上
▲上田彌兵衞氏（大阪府選出代議士）同上旅館へ
▲山口敬氏（淡路社員）同上
▲川資一郎氏（東・鋼鐵會社九州支店長）上田本へ
▲前谷林佐吉氏（鈴木商店々員）同上
▲島岡發太郎氏（大倉組重役）十四日退京
▲岩崎次郎氏（原州農工組人）同上
▲廣瀨三氏（光州農工支配人）同上
▲佐倉二郎氏（平南殖業所員）同上
▲村井與三氏（釜山稅關檢查課長）十四日入京滯在中
▲樋田重吉氏（殖田金鑛秘書）同上

鳥瞰雜俎

快猪が快走する樣に痛快にドン／＼進む日本兵は最うブラゴエチェンスクへ其先頭は到着した▲先鋒の中隊長だ其の勢ひで進むから凄いね尤も後續部隊は追付兼るのだらう▲一體に今度の我が討伐は何時に於いても汽車にしても餘り早過ぎる樣に思つて居たら何うして秘密になつて居た日本獨特の鐵道自動車を使用されて居るから日本の鐵道自動車は今春以來特別構造の自動車を盛に製作して居た▲此自動車は普通の自動車とは趣が異つて居る特異な點は大きな樣な而して此の自動車が鐵道の上を疾走し車が一臺何處にも使用されるのであり是れは常に誰も行ひなかつた所が▲今回西伯利鐵道の上に使はれて見ると此の自動車の一隊が活躍して居ると云ふことだ▲鐵道の上を一時間四十哩の速力で疾走する此の自動車さへあれば機關車が一臺もなくとも平氣な者だ突進する敵軍が鐵道を破壞しては逃げる、機關車を壞して逃げる所で如何に日本軍でも追擊に躊躇するのだらうと思つて居るとドン／＼追つかけて來るので此奴には敵も非常に恐れて對抗の策もないらしい▲一體追擊は敵に息を吐かさせぬのが最も必要だが敵も汽車で逃げるから早い▲味方は汽車に休息を與へる隙を與へないから未だ嘗てない鐵道の鬼ごつこだ▲我軍の一部がチチハルより黑河に向ふと云ふが本隊の先鋒が既にブラゴエチェンスクに到着したので敵は退却するに道ない▲所が背後からも日本軍の壓迫が甚だしくなる仕方がないから樅々に飛び出すより他に仕方がない▲他へ逃げるには差し當りブラゴエチェンスクからは黑龍江を越ねて黑河方面へ遁へするが一番便利である▲其處で奴さん此の方に來るに違ひないと日本軍が手ぐすね引いて進んで行く▲所謂三面包圍攻擊と云ふ姿であるから敵も醫へ上つて居るのだらう▲がチチハルからの行軍は非常な苦心が豫せらる

大阪より

▲支那銅銀禁止　歐洲戰亂以來支那より海外に輸出されたる銅及び銀は頗る巨額に上り國內に於ける銅銀の不足を感ずるに至り昨年春當局は此形勢を慮かり外銀塊の輸出を禁止したるも十分實行せられずして今日に至れり而して最近銅の缺乏を感ずること益々大なるを以て閣議を開き外交部より提出せる臨時銀銅輸出禁止規則に對し贊成を與へたれば不日外交部の承認を求めて公布する筈なるが其禁止品目は小金、生銀、銀元、銀角、銀質物品、銅角、銅元、銅錢、銅質物品等にして特別の規定あるもの、外は一律に禁止すべしと

▲新織布工場困憊　時局勃發後織布輸出の利益莫大なるより近時の合資合名株式又は個人の經營なるを問はず雨後の筍の如く斯業の企業增加するに至りたるに依り織機の需要增加に伴なふ價格の騰貴を助長し實に戰前相場の倍額以上に上り居れるが註文品の供給は註文後七八箇月を經過するも知れざるの狀態にあり之を受け取ること能はざるの現狀なる爲め新設織布會社は工場の建築竣工するも織機の未着よりも事業を開始すること能はず甚だしきは就中新設の小工場に至りては資本の薄弱上一層困難を極め居れりと

▲支那綿絲と南洋　南洋方面の綿絲太手は多く印度綿を需要したるが印度方面杜絕の爲め支那市場に註文を仕替へ十手十二手の大番約二百俵を輸入し尚需要多き見込み付十手十二手新に註せる紡績社十四社に上れるが價格は十六手蘇牌子より上錦なるを以て支那紡績社に執りては頗る有望なりと

▲思惑取引の弊　大阪市場の一特色なる思惑取引の範圍は殆ど有らゆる商品に及び小規模にして直ちに買占の出來得るものを除き其他思惑取引の行はれざるものなく最近買占に依り戒告せられし岡半增貿は米穀鈴木小倉は製粉の各買占者にして其他は獨り米穀類に限らず有らゆる方面に手を伸ばし鐵材の方面に活躍し買占の結果銑鐵四百圓の飛相場を現はしたるものにして殆ど米國相場を凌ぐこと五倍に達し暴利を貪るを出する要あり其他綿絲布思惑取引の買占も頗る大規模にして綿絲に至りては到底買占むる能はざるも綿布は其品種に限りて買占得るを以て商額の關係上頗る容易に買占行はれ其結果買固定して解合を見る事頻々たり而して綿絲布商中應に資金或は手持品あるものは殆ど近畿一圓を通じて思惑取引に參加するもの亦少からず是等は幾多の曲折變調を經て淘汰せらるゝ者多く又大手筋と稱せらるゝ者も波瀾曲折の渦中に捲かれて利益を得必ずや利得とならず損失亦損失とならず略同一の思惑者等が勝敗の勘定を遣り取りするに過ぎず要するに少數の投機者流が各市場を支配し陣笠連を犧牲として暴利を貪らんとするに過ぎず其結果價勢相場を紊亂して商品の停滯を來さしめ一般に益々害する甚大なりと

▲日支製茶消長　本邦製茶の大需要國は米國なるが元來支那は米國に對する製茶の大供給國にして一八二一年の支那茶輸入高四百九十七萬五千斤二百六十四萬斤に上り當時日本茶の輸出は皆無なりしが一八六〇年初めて日本茶の輸入を見たる時も支那茶の三千五十五萬八千斤に對し日本茶は僅に三萬五千斤に過ぎざりしが五年後の一八六五年には支那茶二千四百八十四萬三千斤に對し日本茶は廿二萬六千斤となり其以來支那茶は漸次に日本茶に勢力圏を蠶食せられ約十年後の一八七六年には支那茶二千七百廿二萬斤に對し日本茶三千百十六萬斤にて三百九十四萬斤の優勢を示し支那茶日本茶の地位は全く一變して日本茶第一位を占め其後三十年間は常に日本茶優勢を持續し一九〇五年に不作の爲め支那茶に百十五萬斤を壓倒せられし外二年後の七年には二倍の勢ひを以て支那茶を壓倒し爾來益々飛躍の勢ひを高め近三年間に於ては略三倍の優勢を示すに至り本年も支那茶は腹其の他の關係に依り益々悲觀の傾向あり近三年間の消長左の如し（單位千斤）（竹水庵）

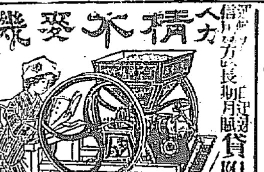
	日本茶	支那茶	比較增加
一九一五年	四三、八六九	二五、一〇四	一八、七六五
一九一六年	三三、三九九	二〇、四四七	一二、九五二
一九一七年	五三、四二八	一九、八二〇	三三、六〇七

田畑　山林
牧場　鑛山
京城府內の敷地
賣却希望の方は至急申込あれ
兵庫縣播州別府港　多木製肥所

露語・支那語科夜學開始
授業時間自午後七時至九時
出願期日九月二十八日より
善隣商業學校　京城青葉町

外務員採用
毎朝九時迄に履歷書持參の事
京城本町四丁目一參一
徵兵保險會社（電長一九一〇）
此頃阿部某と申す者本社員なる如き言を以て徘徊し居る趣なれども本社に無關係に候

力織機新製六臺
三尺巾緣綿機　附屬品一切
撚綿機　貳臺
手織緣綿機　壹臺
右至急讓渡し候間御入用の方は下名へ御申越被下度候
全南木浦　山本萬次郎

人力精米麥機

詳細圖入說明書は申込次第差上候
製造元　大阪西區市岡町　東亞物產商會
地方長期月賦貸附　試驗を乞ふ

京日案內
普通七十錢　一回前金
▲申込中途解約中止の節は料金不返戾
▲六回以上の御申込は割引の事
▲料金は前金にあらざれば掲載せず

恩給立替　金は證書御渡し致します
地方は規定送料
京城府若草町郵便ポスト前入
西村商會

有給店員募集　希望者談
京城本町一丁目　ますや呉服店

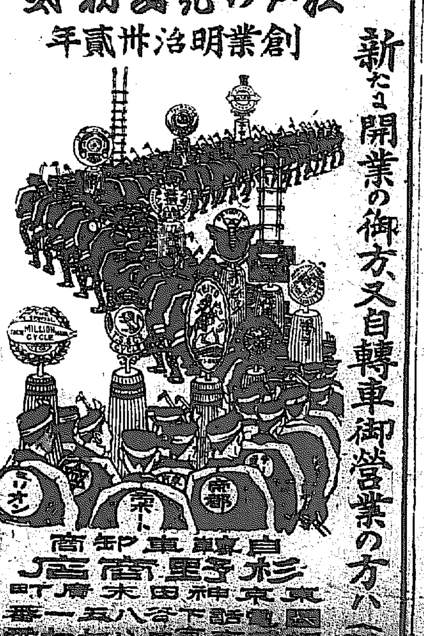
女子募集　滿十六歲以上三十
履歷書携帶庶務掛にて承合すべし
龍山　總督府印刷所

高等下宿　一ヶ月二十圓
宿料一泊食付五十錢
京城太平通二丁目　釜山日報向側　三浦商店裏
好三館

穀調製用具は京城の戸田春藏本店へ
▼收穫に必要なるすべての器具を整へ居候▼
▼品質を第一の標準として製作致し居り候▼
本店＝京城南大門通
工場＝京城北米倉町
各種　稻扱　唐箕　萬石　篩類

宮內省御用達
千葉縣野田町
野田醬油株式會社

胃腸新藥
藥效　工場
タカヂアスターゼ
高峰博士發見の本品は本邦人に最多數を占むる澱粉不消化に因する胃腸障害に必要缺くべからざる新藥として多數の醫學者臨床家に依り確認賞用せられつゝあり。
本劑は從來米國にて製造したるものを輸入せしも前年より本會社品川工場にて製造し純國產品となれり。類似模造品は時日經過と共に効力減却するを普通とす。我タカヂアスターゼは効力永久不變なり。
內外醫學者の實驗報告書無代贈呈す
東京室町　三共株式會社

江戸の花出初式
創業明治廿貳年
新たに開業の御方、又自轉車御營業の方ハ（御照會）
東京製自轉車に依て絕大なる信用を博し交通機關の公益を計れ

自轉車卸部商
杉野商店
東京神田末廣町
電話下谷八一五八番

[illegible]山頂の野上にて國旗を[illegible]して一同に向ひ皇軍大本營方面に[illegible]中を大いけたるより[illegible]三十九回を唱へ[illegible]

◎聖旨を奉じて

向井侍從武官、浦鹽の帝國海軍を慰問す

從軍記者　金谷眞

聖上陛下には本年二月以來浦鹽方面に出動せるわが海軍の勞苦を思し召され茲に優渥なる聖旨を下し賜はれた、侍從武官向井海軍少將は本月三日御用船〇〇丸にて浦鹽着、親しく加藤艦隊司令官及び〇〇、〇〇艦長等に聖旨を傳へ且つ陛下より海軍一同に下賜されたる酒肴料をも捧持した、侍從武官は浦鹽滯在中御用船より軍艦〇〇の艦長室に移り陸海軍人及び領事等の公式訪問をうけた、猶各國の外交官及び軍人よりも公式訪問をうけ陸上ではまた日本側の領事館、學校等各方面を廻つた

▽分捕した裝甲列車に乘る　内地へ送る獨逸製の野砲

戰線からニコラエスクに出る途中の者は鹵獲の裝甲列車に乘つた、列車は八月廿四日ドホヴスコエ附近の戰鬪に於てわが軍の手に鹵獲されたもの車上には七珊半の敵の野砲一門を積んでゐる、また車の四方は鋼鐵で圍み内側は六七寸の砂のベトンになつてゐる、砲は日露戰爭當時露軍の使用した獨逸製、這回の激戰には此の砲により常に敵が奮戰したものである、砲は戰利品として日本に輸送される途中であつたが鹵獲裝甲列車の上で沿海州の秋風に吹かれる心地はまた格別であつた

▽北へ北へ!!!　目指すは何處

烏蘇里線のシマコフカ驛で雨の蕭々として降る中を歩兵の一隊が前進した背嚢には携帶天幕と飯盒とをつけて中には米六合、堅パン三食分、襦袢に袴下各一揃、牛罐一個、沓下三足、日用品を容れてゐる此の重量ざつと八貫匁、猶腰には百幾十發の小銃彈をさげておまけに小銃をもつたその武裝!!!『露軍が破壞されたつて構ふものか俺等はドシ／＼行軍してやつけるぞ』と言つた上等兵も行く、目指すは正にハバロフスク、沿黑州の雨はザア／＼ザア／＼と我等の袖に降りそゝいでゐる

▽チエック軍後貝加爾に活躍

日本軍と共に奮戰したチエック軍は頃日續々後貝加爾方面に向ふ、今の有樣では烏蘇里線も大切であるが中部西伯利のチエック軍及び歐露ムルマン方面のチエック軍とも聯絡のとれたことであるし且つはイルクックから東進して來たガイダ大佐の軍とも後貝加爾で合したからこれよりはあの方面で活躍するであらう、チエックは露人と同じスラヴ族で以前から墺國に屬しボヘミヤ附近に居たがこんど過激派及び獨墺を討つべく奮起したのは目覺しき限りである、殊に其の勇敢なる武士的精神もなか／＼盛んたるもので先月中旬にもアントノフカの戰ひに全一隊を救はんとして七人の士卒が自ら犧牲となつて斃れたことがある、その他七月中旬スパスカヤの附近の戰鬪で敵の背後に迂回したヤボン隊には鐵道破壞の效を奏せざるや遂に俘虜となるを恥て自殺した、兎に角全軍中での男らしい事をやるのは日本軍とチエック軍である

從軍寫眞謹報――金谷從軍記者撮影

（一）侍從武官來る（二）我軍の鹵獲せる敵の野砲（三）北へ北へと進軍（四）後貝加爾に赴くチエック兵

◎愉快に勉强してゐる　八百名の朝鮮學生（下）

無暗に渡來するのは考へ物

朝鮮留學生監督　荒木捨作氏談

然し茲に大に警告して置きたいのは無暗に渡來することである所謂基礎もなく目的も無く徒らに友人の誘惑に依り又は好奇心に驅られて渡來する事である朝鮮では内地の夫れと趣きを異にして入學年齡の關係上小學校を卒業すれば十八九歳に達する者も少くはない是等が只一時の好奇心の爲に漫々渡來し扨中等學校へ入學するとせばどうであらう内地に於る第一學年生は十三四歳位である是等の群の裡に廿歳にも達すべき巨軀を交へ加ふるに言葉にも多少異なる所がありなどする爲に獨り快々として樂まず遂に自ら▽退校することゝ云ふやうな例も決して皆無の事ではないのである、さうなれば自然勉學の氣は失せて遂には糊口上勞働者の群に入り異鄕の空で落日を送らねばならぬことゝ限らぬ又朝鮮と内地とは物價の程度に大差がある例へば朝鮮では一箇月八圓もあれば生活が出來るとするも内地では十六圓でも困難を感じ

過ぐる迄は十三四圓の下宿料が今日では十八九圓と

なり一箇月に二十四五圓の學資が三十何圓乃至四十圓といふ樣になつて來てゐる今日に於て目的もなく基礎もなく徒らに渡來して貧苦の間に父兄を苦しめるのも其策を得たものではない時として苦學の目的を以て渡來する者もないではないが諸物價騰貴の今日に於て決して▽成功は期すべからずといふよりも寧ろ出來得べからざる事である、そこで向學の士は此邊の處をよく／＼注意して徒らに渡來して身を過たぬ樣にしなければならぬ、要するに朝鮮に於て學ぶべからざるものを學ばんと欲する者の外は渡來すべからずといふ事を堅く告げて置くそれと同時に留學せんと欲するものは

年に四百乃至五百圓の學資を要すといふことを

承知して置かなければならない充分基礎も出來學資の餘裕もあり相當の目的を立て留學せんとする者は大いに歡迎する是等の人々は又必ず渡來して大いに學業を修め將來の發展を期せん事を切望する次第である▽學業に勵めしむる爲めには朝鮮留學生寄宿舍なるものが設置してあつて飽迄留學生の爲めに便宜を計つてはゐるもの〻限りある建物に收容する人は知れたものであるから其他は皆依然下宿屋生活を續けて費用を要するといふ有樣である何れ留學生の下宿屋に於ける生活振り及び修學振り等は更めて御話する事にしよう……（東京支局）

◎贅澤品に奢侈税

大藏省主税局で目下研究中

大藏省主税局にては目下奢侈税の設に就て調査中なるが右は一は社會政策上より一は財源として歳入を設せんとするものにして或る一定の標準を設けそれ以上の▽奢侈的の消費に對して課税するものなるが之が徴税方法頗る困難なる事情あり佛國の如きは印紙を以て納税する方法を採れるも我が現狀にては到底斯かる方法にては大部分の脱税を免れざるべきを以て果して實現するや否やは疑問なるも▽徴税方法に就て研究中なりと右に就き大藏當局の談に曰く『奢侈税を第一に始めたのは佛國であるが尤も部分的のものは獨逸でも伊太利でも印紙税の形でやつて居る例へば香水に二十錢の印紙を貼らせるなどその一例である佛國が昨年頃から始めた奢侈税は極めて▽大仕掛けで一般の商品に課税して居る例へば衣服一着五十圓以下のものなら税はかゝらないが五十圓以上となると税を課する又十圓以下の靴なら許されるが以上となると税がかゝる夫から一切の貴金屬寶石類は凡て奢侈税を要する而して佛國の奢侈税は一割乃至二割である此奢侈税を徴收するといふ事は現今では世界の▽租税立法の風潮で現に佛國政府でも既に奢侈税法を拵へ議會に提出して居るで近くこれが實施を見る事であらう我國でも現に大藏當局に於て研究中であるが何時頃から實施されるか左樣な事は今のところまだ見當も付かない』（東京）

◎輸送の途を絶れて

物資の缺乏に苦しむ大邱地方　夫に附け込む奸商も居る

誠に止むを得ぬ事ながら時局の影響を受けて能に輸送力を減殺された朝鮮鐵道沿線各市街地は物資の供給充分ならず何れも難儀して居るが殊に鐵路による外運輸の便なき大邱附近は一層の打撃を蒙つてゐるいくら困る／＼とは云つてもまだ▽水運の便を有する釜山、仁川、木浦などは帆船を利用して少量ながらも補給を受けてゐるが大邱は全く汽車便より外に輸送の途がない爲め去月下旬大阪に注文した雜貨約一千噸がまだ大阪埠頭に積んであると云ふ始末だから物資は次第に缺乏する一方市民は甚だしく困憊して居る是に就き同地の▽有力者は曰く『貨物によつては例年よりも早く内地に註文して既に到着して居るから差當つては缺乏を告げるやうな事はないが輸送力の不足と手持品が漸次捌けて行くので或る種の品物は遂に品切れとなり從つて價格の騰貴は免れぬであらう殊に石油、燐寸、内地産清酒の如きは何れも品薄で就中石油、燐寸の如きは僅旬日の間に一箱一二圓も値上した位清酒も非常な拂底で▽料理屋ですら内地酒はお生憎樣……と斷つて居る始末である』所が金泉はより以上の打撃を受けて殊に食鹽と燐寸の缺乏甚だしく食鹽は先月小賣り一升九錢だつたのが本月十日には二十錢内外に上り燐寸は卸商には一箱もなく小賣商にはほんの少し殘つてゐる許りで先月一袋十錢だつたものが目下では十五錢を唱へて居る石油は全く品切れで雜貨は▽絶對禁止の上一升五十錢と云ふ途轍な相場を現はして居る斯麼有樣だから中には得たりと暴利を貪る奸商もあるらしく當局官憲は密に視察中だと云ふ現にこの程も食鹽一升を三十錢に賣付た鮮人があつたので早速處罰した相だ尚忠州西面阿火里には本月六日より全く石油及び燐寸が切れ火の種にさへ困つてゐると云ふ事である斯うした狀態が▽何時まで續くか固より一時的現象ではあらうが差當つて非常に逼迫して居る事は事實で程度こそ違へ[illegible]らしい』と（大邱電）

◎西伯利で初飛行

敵飛行機はまだ影を見せぬ

西伯利に派遣された我飛行隊の飛行機は本月二日初飛行を西伯利の空に試みた▽著陸地には同地の村民黒山のやうに集まり始めて其眼に觸れた此の怪物に就て種々な批評を試みてゐた中西大尉は語る『西伯利は曠野千里と云はうか萬里と云はうか空から見ると一望際涯なく飛んでも／＼▽一つ所を飛行してゐるやうな氣がするまだ敵の偵察には行かないが是から徐々活動を開始しやうと思ふ當地へ來る迄は氣流など隨分複雜ではあるまいと思つてゐたが實際に當つて見ると大きな相違で所々に恐ろしい▽旋風が捲起つてゐる若し飛行機が捲込まれて了ひさうになるには些か驚いた敵にも飛行機が二臺あると聞いてゐるが一向影も形も見掛けない』と（浦鹽電）

◎チエック兵は來るか來ぬか

當局には何等の通知もない

チエックの病兵四十名が浦鹽から元山に來ると云ふ噂は既報の通りであるが之について我官憲側はまだ何等の通知にも接して居ないと云ふ噂は所謂噂の噂に類る怪しいものだが萬一何等の交渉なしに來るものとすれば外國人取締規則に依つて當然▽入國拒絶をせねばならないと當局は語つて居る朝鮮郵船會社元山支店の話では目下浦鹽に入港して居る平壤丸はまだ何等の交渉も無く船が今の處まだ北鮮に來さうな模樣も見えない、けれども右の報知を第一着に受けたと云ふ山梁洞の聯合耶蘇教病院長のロース氏は『一週間以前に京城に出張した際京城の赤十字社で浦鹽からチエック隊本部からの依頼による病兵收容の事を相談され止む無く當方に於て引受くる事に決めた譯だが船の都合でまだ▽着元期は言明されないが近い中に直ぐ來ることゝ云ふ事だけは非常に確かである現に當方に於ては大に爲に收容所なり設備等に着々準備をして居る然し病兵は大部分肺患者だと云ふので頗る當惑して居る』と語つて居る何が何やら……（元山）

◎本社主催　通俗講演會

講師は神道界の權威

連日社告せし如く神社式の大家皇典講究所の講師青戸波江氏の來京中なるを機とし本社主催となり本十五日午後二時日之出小學校講堂に於て『[illegible]の大意』と題する一場の講演を請ふ可し氏は神道界の權威にして著名の學者なれば此種の講演を京城に於て聽く好機を得しは京城人士の幸福と爲す所なるべし成る可く多數の來聽を歡迎す

□救濟金寄附

一金二百圓　東洋捕鯨株式會社朝鮮支店

累計金九萬七百五十圓二十[illegible]

◎米暴動印度に飛ぶ

マンガローア市大騷亂

印度の西南部海岸マンガローア市（孟買の南方）に米暴動勃發し群集は日貨を襲ひ商店に亂入掠奪を逞うし今や同市は大亂の巷と化せりと報ぜらる（東京電）

◎飛行機覆顛

十三日岐阜各務原飛行場にて岡大尉は中島式複葉機に依り操縱試驗飛行中顛覆し機體大破損せしも岡大尉は無事なり（大阪特電）

◎大阪の火事

十三日大阪南桃谷屯[illegible]製作所西川宇松方より出火し十六戸燒失したり（大阪電）

◎少女五名を刺す

滋賀縣栗田郡長濱町湖岸にて十三日夜行燈祭しあり夥多の人出ありたるが如白鬼現はれ五名の少女を無殘にも刺傷し混雜に紛れ逃亡せり（長濱電報）

◎堂に滿ちた軍國氣分

賑うた本社主催のお伽講演會

既報の如く本社主催第六回お伽講演會は十四日午後二時より鐘路小學校講堂に於て開かれた永い暑中休暇中一度も開く事が出來なかつたので★定刻前から少年少女達が續々と詰掛けて開會を待ち兼ねて居る、[illegible]が開かれると順々に入つてお行儀よく座を占めた、淵上校長の紹介で壇に立つた涙光をぢさんがニッコリ笑つてお辭儀するのが可愛い★拍手が雨と降る、開口一番久し振にお腹の皮をよらせて歐洲戰爭を中心とした『父を尋ねて』青島の戰爭を中心とした『召集令』西伯利出兵を中心とした『斷足大尉』の★三席を立て續けに講演した堂に溢るゝばかりの千數百名の生徒達は可愛い拳を握りしめて身動きもしない、始めから終りまで場内は軍國氣分が漂うて居た餘りみんなが力を入れて聞いたものだから涙光をぢさんも一生懸命になつてカラーも下著も汗でびつしより濡らしてゐた、斯くて★樂しい講演會は少年少女達に充分の滿足を與へて午後四時閉會を告げた、聽衆には西大門、中學校、其他の兒童の外高等女學校、女子の教員生徒及び父兄達も多數見えてゐた、終りに淵上校長、河野お伽會主任其他教師達の多大の盡力に對して深く感謝の意を表する次第である。

◎山室大佐動靜

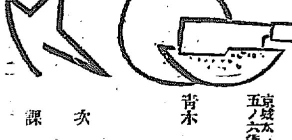
入京中の救世軍書記長官山室大佐は十三日朝曉氏と共に總督府を訪問せるが午後より黄金館に於て主義宣傳の講演をなせり

◎記念繪葉書

十月一日より郵便局所にて賣出すべき始政八周年記念繪葉書は印刷所の印刷も終り過日來各郵便局に發送中なるが部數は前年と略同樣也と

[illegible]文字（一等には[illegible]）

▲[illegible]　◎果物と庖丁（一等）　京城太平町二丁目五ノ六德本方　青木妙林



次回課題

◆應募者へ　答めたは成るべく[illegible]法を其他巧みに應用したものを[illegible]一線の長短に依つて考査されんことを（記者）

日曜集會

◆京城組合教會（南米倉町）十五日午前十時『新生涯の首途』吉木牧師夜八時『權威ある私語』牛牧師

◆メソヂスト教會（三町二丁目）午前十時より『神働き給ふ』中村牧師夜八時『不信の原因』中村牧[illegible]

◆桑苗各種豫約募集

山林用種苗各種定價表無代進呈

尾張國小牧町櫻井　小牧種苗農[illegible]

日之出印　名刺用紙　カード　葉書臺紙

製造發賣元　調製繪葉書發行所　京城本町二丁目　日之出商行本店　電話九五六・振替四〇二

▲御申越次第見本呈

▲改定價表御送付[illegible]

京城春川間乘合新式自動車!!!

當商會大正四年十月開業以來益發展に趣き候段は偏に各位御眷顧の賜と深く感謝候今般御乘客の眷顧に酬ゆる爲め更に快速にして乘心持能きスプリングシーツ付トーリング最新式自動車數臺を購入し九月十四日より迅速確實を旨とし運轉仕候間一層御愛顧の程願上候

弊商會移轉營業せしかの御照會の向も有之候も小生經營の京春自動車商會は從前の場所にて營業罷在候間不相變御用命願上候

京城發前八時　春川着十二時　春川發前八時　京城着十二時

京城水標町　京春自動車商會　松田壽男　電話二二三八番

堀井謄寫版

堀井を冠せるもの斯界の白眉なり

京城南大門通二丁目　堀井謄寫堂京城出張所　電話長[illegible]四〇二　振替京城一〇三八

少年少女の好讀物

八島柳堂先生著　古賀雄[illegible]

教訓お伽噺

總クロース入　二百七十頁　定價三十五錢

面白い、面白いおはなし

恐しい、悲しいおはなし

讀めば、屹度お爲になる

發行所　京城大平通　京城日報社代理部　振替二〇〇番

純良の藥品と賣藥が揃つて居ります

クラブ化粧品代理店ですから御値段がお安いです

京城本町二丁目角　古城賣藥[illegible]　電話一〇二番

妻の心(六十三)

十五の六 小林蹴月作 武内桂舟畫

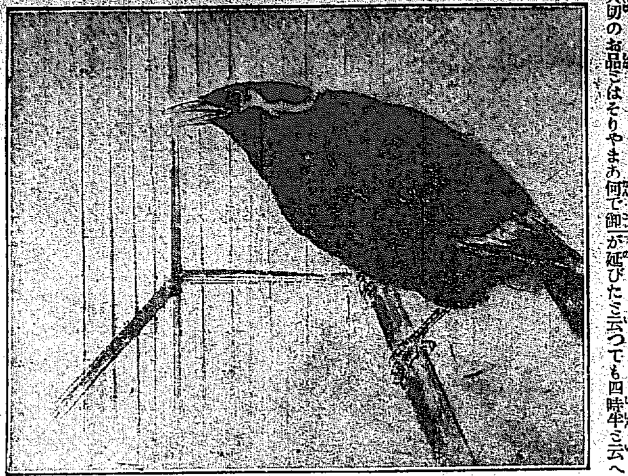
禮子は、重ねて云つた。

『ね、勝や、今夜の騒ぎは、旦那さまのお前の云ふ通り、降つて湧いた災難ですから、妾さへ口を緘んで居れば、誰の損害にも誰の不利益にもなる事ぢやないんですから、お前も惰願ね、此の事丈は口へ出さずに居て下さいよ。』

『そりやもう、奥様が然うお斷念め遊ばしての事なら、妾風情が、何でそんな餘計なお饒舌を致すもんで御座いますか。』

『惰願ね、堅く囑みますよ。でないと又、いろ／＼な難しい問題が來るんだからね。』

『委細承知致しまして御座いますで御座いますが、奥様、命より御大切のお品とはそりやまあ何で御座いますか。』



勝やは、ほんの好奇的に聞いて見たのである。

禮子は、それを聞かれるのさへも、ほと／＼當惑しきつたやうに額を顰めて、

『……お前なんかに聞かしたら反つて笑ひの種かも知れないけれどもね、實はね、勝や、旦那樣と御婚禮した時の記念にと云つて、旦那樣の御實家の定紋と、妾の定紋とを比翼に彫付けてある金指環なのよ。』

『まあ、それは惜い事を致しましたわね。』

『惜い惜くないよりは、妾は矢先が矢先だから、氣に懸つてならないのよ。それに旦那樣に對しても、他の物とは違つて、如何にも妾が不注意……投げやりのやうにもお思ひになるだらうしね。』

禮子の心配する處は、新個此の斷にあつたのである。只さへもさま／＼の口實を設けて、禮子を排斥しやうと爲て居る久三郎が、此の事を耳にしたらば、又何のやうな無理難題を持ちかけぬとは限らないので、禮子は口にも云ひがたい苦痛を感じて居るのであつた。それに付けても、一切秘密主義を執るのが、差當つての得策である、と、彼の女は思つた。

『奥様、何にしても清凉事のあつた後と云ふものは、一倍淋しくて氣味のわるいもんださうで御座いますから、失禮ながら妾がお次へ參つて、不寝番を致しますで御座います。』

『ほんに能く云つてお呉れだね。次の間でなく妾と一緒で關はないから、此處へ來て寢てお呉れ。夜が延びたと云つても四時半と云へばもう白々明けになりますから、長くて二三時間の辛抱です。』

斯く云ふ間にも、旦前の彼やさへ居て呉れたら遺憾の間違ひもなかつたらうにと、禮子は今更に母親との衝突から暇を與へた彼やの事を思ひ出さずには居られなかつたのである。けれども、それは固より死んだ兒の歳であつた。勝やが比較的年若でもあり、新參の奉公人にも似合はず、親切に氣の付いて呉れるのが幸ひ、此の夜は、氣味わるく／＼も二人枕を並べて寢床に入つたとは云へ、寢に二人が二人ながら、まんじりとも爲ないで、東の白むのを待ちかねたのである。而も、主人公たる久三郎は、到頭夜が明け離れても歸つて來ないで、旭がかん／＼と廻り縁のトッ先まで射込む頃になつても更に／＼で勝やは召使はれる身であるから

そこ／＼に起き上つて、勝手の方へ引退つたが、禮子は、心身二つながらの疲勞に打たれて、起き出でやうとも思ひつゝも、まだ容易に起き出づるべき氣色はなかつた。何時ぞや病院から歸つて以來、朝は必ず麵麭と牛乳とで、朝飯を濟ます事になつて居るのであつたが、今朝ばかりは、その麵麭と牛乳とさへ欲しくなかつた。例の九官鳥が頻りと羽をバタ／＼させて『禮さん……禮さん』と、鼠を叫ぶやうな聲で、呼び叫ぶので、漸くう不承々々に起出づる事は起出でたが、その時は既う八時も過ぎて午に近い頃であつた。

『禮さん、お目覺めかね。急に久さんに逢はねばならぬ要事が出來したので、唖者になつた約束を破つて出て來ました。久さんの書齋へ案内して下さい。』

突然に姿を現はして、頭から斯う浴びせるやうに我鳴立つたのは誰あらう母の喜久子であつた。喜久子は何の咒ひか知らぬが左の手首に水晶の珠數をだらりと引掛て居る。

牛乳 御用 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

院長 醫學士 森定吉 (芙蓉醫院改め) 森病院 内科 小兒科 京城明治町二丁目(舊鶴田醫院跡) 電話二六二三番

公私衛生(三)

注意の不注意 短捧生

下水溝に就て

下水溝を粗末にせぬこと一般市街に於ける文明的衛生施設の要事として上水下水は共に缺くべからざるものであるのに水道は早く完成しても下水溝の後れるのは何故であらうか其第一の理由は水道は料金を取つて經營することが出來るため政府がやつても公共團體でやつても將た又個人を指定して民業とさせても先づ立派に營利事業として成立つのであるが是に反して下水設備は

△全く不生産的で或る資本の大きな金を懸けても收入と謂ふものが全然無い到底商賣にならぬ資本の出し放しであるそこで自然必要なことでありながら後廻しとなるのは無理もないことである京城などでも下水溝はあることはあるが清溪川旭川の二大幹線を始め大小の支線は市内全般に普及して居るが其施設が不完全な爲め常時汚水が溜滯して疎通せず一朝降雨に會へば濁流氾濫して家屋を浸し其後の衛生狀態は

△實に寒心に堪へぬのである京城の下水は場所によつては反つて汚物の集め場の樣な風に成つて居る處が澤山ある之でも鮮國時代の實況を知て居る人々の話によると其の改善されたことは今昔の思ひがあると聽いて居る

し今や内地人七萬を上下する都市として京城府でも現在の下水では滿足出來ぬ京城府でも此年度に於て數千圓の經費を投じ準備調査を遂げ大正七年度から繼續事業として清溪川旭川の幹線を始め大小の下水を逐次完成する計畫が著いて居ることを聞くが洵に結構である是れが完成したら確に京城の衛生狀態は一變するであらう然るに此う完全な下水とは雖も市民一般の心得方で或程度迄清潔狀態を保持し得るのであるが實際は大違ひで

△驚く程冷淡なには困る下水が如何に濫溜しても之を浚へるでもなく反つて汚物を拋る、折角蓋や箱のあるのに態々下水に不潔物を投げ込む警察官の目を偸むで隙あらば前を捲くつて失敬する。丸で清潔狀態を維持し保護すべき下水を汚穢物の捨場に代用して居る矛盾も無責任も爰に至つては御話にならぬそして之等の不心得者に對して警察で八釜しく謂へば自分の不了簡を棚に上げて反感する位の態度である警察とても看視の隙なしと謂ふ譯にはゆかぬ網を潜つて行るならば仕方は無い斯ういふ不埒な者に向つては共同制裁が一番効き目が有る新聞なり何なり遠慮なく

△氏名を素破拔いて摘發し罪償として其の邊の溝渫へなり何なりやらせるまでに行かなくてはならぬ要するに下水が都市の經營上如何に大切なものであるかを市民一般の腦底に深刻に記憶させなければ駄目である

皮膚科 專門 外科 京城太平通二丁目 扇田醫院 電話二二五八番

日報俳壇

洪州吟社詠草

み明しに我の虫飛ぶ佛間哉 石泉
健かに育つ我子や菖蒲風呂 靄雨
射的場に高き一樹や小鳥の巣 一葉
朧頭に鶯の巣もてる古木哉 伯木
五月雨や殘のはさまの裏通り 無膽
社稷壇に鶯巣籠れる夜雨哉 寸霞
帆めぐる雲や帆や五月雨るゝ 石楠
鳥の巣に樹の蔦青く茂りたる 禿念
木の香高き新居さしき菖蒲哉 洄川
塔の旭に光るや池の花菖蒲 同
道傳請の安全燈や灯取虫 涼火
鶯の巣にとゞ雲流れ居る 同
色に集ふ飼商人や五月雨 同
門に還ふ内房の灯や灯取虫 鐵騎

茶の芽會詠草(龍岩池)

蝋燭の眼に涼しさよ島若葉 綠江
瓦斯燈に光れる軒の若葉哉 同
峯は晴れ若葉の底水の音 球川
朝の光り流るゝ窓の青葉哉 同
魚跳ねて陽を吸ふ池や若葉風 露滴
白鷺の巣籠る楡の若葉かな 馬背
雜木若葉に岩山黒く聳ゆる 木香
柳絮飛ぶ青葉に暗き小路哉 同
人居らぬ傳體場の若葉かな 楚川
張板に燃ゆる夕日や庭若葉 同

烏兒子に館月報恩寺に遊ぶ

いろ／＼の雲うつりけり秋の水 崖城

口晉州より 大西秋湖

月池さま 頓と御無沙汰してゐます。南鮮の片ほとりに侘たき住居をして早や二年になります。[illegible]遙かに飛び行く鳥の行方を眺め暗然[illegible]閉されて居ます

最上清酢 マルカン印 日本一

ほまれ味噌

最上醤油 日本醤油株式會社 京城出張所 電話二四五番

讀者の領分

近頃は頓と句作にも遠ざかりまして又その方面の風交にも疎かになりまして何とも申譯がありません。[illegible]追々涼しくなりますから下視しむの好季節ともなりましたから是れから大に努力しようと思ひます。

△獨身生徒へ 申上ます。[illegible]なれば知れる限りは御知らせ申すべし。[illegible](藤の花)

△[illegible]試驗は何時ありますか、又その試驗課目は何々でありますか、御伺ひ致しながら御答へ下さい(聞き度生)

△仁川[illegible](京城[illegible])

新刊紹介(到着順)

△赤い鳥 九月號 まる木稿、魔法の魚、大きい源兵衛、空飛ぶ蛙の王女、忘れた話題、黒い小鳥、鼠、赤い花、目白、虹、湖水の女、其他可愛い讀物よりなる(東京小石川區高田老松町赤い鳥社)

△文藝倶樂部(二の九) 生命のある文章、眞に人生を觀る眼、女優觀劇の外見合ひ(小説)夜のさびれ(短歌)秋の夜(長詩)寄と白(隨筆)其他あり(十二東京牛込矢來町新潮社)

△女の世界 九月號 現代婦人の使命と修養、ジプシーの夢占、和顔愛語、偉人の散歩と趣味、女一百人、青い姿と黒色の姿、姿は拾錢の女か、三人女房、濱崎京話女心中、活いて嫁ぐ女那の結び、神田劇場の女優、獨身者の悲哀と慰安、短篇小説照子一代鏡、母に成つてから等(二十五錢東京麹町有樂町一の四實業之世界社)

子のない法

世には子なき爲夫婦の愛情薄く家庭圓満を缺き離縁となる悲劇を起し又子無き爲め[illegible]田村工學士は最新の學説により[illegible]

品質本位絶對保證

REGISTERED TRADE MARK No. 53079 "THE RICH TYRE" DURABILITY

リツチタイヤー

切見本及目録進呈

發賣元 大阪[illegible] 木村商店

髪の艶を出し

鬢の張を良くする

クラブ香油は

椿油、山茶花油、扁桃油、橄欖油等を主要な原料とし之にクラブ獨特の美髪劑と高貴な香料とを加へて謹製した純植物性の美髪香油で香油中最も評判好く長くも

皇后宮職御用

の光榮を拜して居ります……

お髪上に クラブ香油

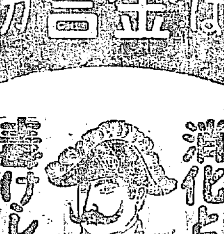
お洗髪に クラブ洗粉

ふけ取に クラブキニーネ

クラブポマード

○いろは順に出ます貯つてためて下さい○

いろは金言カード



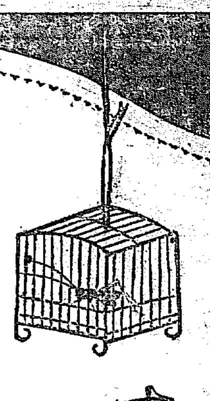
消化と毒けし 仁丹

三輪 井上 兩博士御方劑

本舗 森下博藥房

み 自ら助けよ然らば天汝を助く(フオンテース)

し 商業の精神は眞實にあり(モルガン)



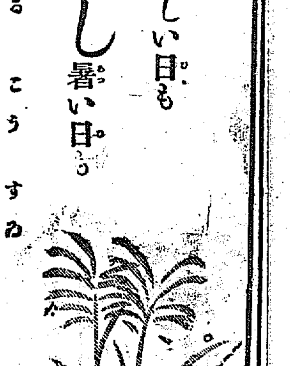
すゞしい日も

むし暑い日も

床しい薫りの

金鶴香水

忘れてならぬよい匂ひ



亡妻 [illegible]葬送の際は態々御會葬被下[illegible]御禮申上候

大正七年九月十四日

夫 河島[illegible]

親戚 喜多宗一

親戚總代 幸村市太[illegible]

友人 木島平兵衛

總代 池田長兵衛

小川[illegible]

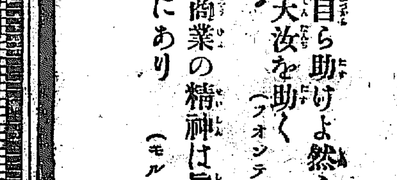
正誤 昨十四日附本紙掲載の廣告中[illegible]の誤植に付訂正す

りん病ばい毒 にせドラッグあり御注意

[illegible]好商なり[illegible]

京城南大門外 ドラッグ商會 大阪ドラッグ[illegible]

定價表進呈



中村眼鏡店

京城本町 大阪屋

書式大全[illegible]

朝鮮法規提要[illegible]

最新 朝鮮農業寶鑑[illegible]

富の道しるべ[illegible]